前號發賣禁止

無産階級戰闘雑誌

進め

清黨運動の旗を
飜して合同の完成へ

定價十錢

第七年 ◆ 二月 ◆ 第二號

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

本號一瞥

卷頭言…………吉田源藏
日本大衆黨の結成と左翼分子の任務…………吉田源藏
日本大衆黨の結成と左翼闘爭の飛躍的展開…………伊倉繁郎
清黨運動に關するハガキ回答
猪俣津南雄、加藤勘十、帆足理一郎、龜井貫一郎、川崎茂、加治時治郎、青柿善一郎、野中誠之、井上良二、永田繁登、無名氏、吉田源藏、茨谷進、布施辰治、寺島宗一郎、棚上虎助、大澤一六、鄭然圭。根本宗光、杉山元治郎、佐藤二郎、森貞治　編輯者
凱歌を擧げて次の闘爭へ…………中川徹
全國勞農青年同盟創立大會宣言…………
時評
▲利權政治に抗して岐阜農民暴動す…………工藤勝市
▲支那より手を引け…………佐々木徹三
▲寸評一二…………清水實一
清黨運動の世界的階級性…………吉田源藏
全土戰線
戰報一二…………滿波支局
滋賀縣下の無產青年諸君に告ぐ…………滋賀支局
待遇劣惡に對して女工の叫び…………愛媛支局
反動宣傳に乘るな…………群馬　妙木一夫
ミリタリズムの犧牲となりし子の爲めに…………柴田己之助
生野鑛山鑛夫に與ふ…………一鑛夫
進め讀者會を發展せしめよ…………浪速支局
關西進め社總檢擧さる…………前田猜乇
勞働者よ農民よ戰へ…………坂本紫浪
搾取行刑政策と自由勞働者の失業關係（七）…………加藤利藏
靑少年勞働者保護法を獲得せよ…………
理想鄉を造らんとして支那革命に從ふ（特別讀物）…………福田狂二
社會主義運動思出話（特別讀物）…………岡野辰之介
組合風景（川柳）…………ケイ・ユメ生
■進め社便り　時事日誌　進め戰鬪歌■
紡績工場小景（戲曲）…………土佐和芳
漂泊の旅（創作）…………吉田金重

日本大衆黨機關紙！進め

全民衆の先頭に高く翻るは何ぞ。七黨合同の騎虎の勢をもつて邁進する日本大衆黨の旗だ。全民衆の歡呼の聲今や山野に滿つ。

月刊
日本大衆新聞
一部五錢

發行所
東京市芝區愛宕下町
三榮ビルヂング內
日本大衆新聞社

全國農民組合機關紙

働く農民に土地を保證せよ

全國農民の血をわかす吾等の巨砲

土地と自由

月刊一部五錢

大阪市北區堂島濱通

全國農民組合本部

萬國の無産者團結せよ

第七年◆戰鬪◆進め◆雜誌◆第二號

清黨運動の立場を明かにす

先に左翼三團體を解散し、治安維持法の改惡を斷行した田中反動内閣は、一方、黄金をバラ撒いて無産政黨の階級性をもぎ取らんと奔走する。墮落幹部こそ、その最善の媒介物である。七黨合同によつて成立したる日本大衆黨は、吾が國無産政黨運動の劃時代的統一であり得たが、又その合同統一を喰物にして政府と取引せんとする墮落幹部も、一萬一千圓を獲得して劃時代的裏切を敢行した。日本大衆黨成立以來、重々しくも全勞農戰線の上に垂れこもる疑惑と迷羊の暗雲をおしのけて、輝ける炬火を高く揭ぐるものは誰ぞ、清黨運動即ち之である。われわれは去る一月二十日の全國勞農青年同盟の創立大會において「日本大衆黨の統制委員會に警告を發すべし」とする緊急動議を眞先にして黨内左翼分子と相呼應して組織的清黨運動を開始した。以下、清黨運動の立場を明かにして、全土の勞働者農民諸君の積極的努力を期待するものである。

一、清黨運動は日本大衆黨の階級性擁護、分裂絶對反對のスローガンを中軸として行ふものである。墮落幹部が政府と取引をする爲めに結成した合同黨であらうとも、合同そのものは大衆の要望であつて飽迄正しく、吾等は敢然としてこれを擁護しなければならぬ。

二、清黨運動に伴ふ一つの困難は、彼等墮落幹部がよしそれが取引の具にでもせよ合同を決行してゐるといふ點より起る錯覺である。しかし乍ら、吾々は合同統一の結果を護持して、墮落幹部の非階級的罪惡を抹殺してはならぬ。彼等は合同を行ふ事によつて所屬を一にする無産黨代議士を議會にて民政黨に合流させないと云ふ條件をもつて取引したのである。だから合同は彼等の陰謀に最も必要であつたのだ。

三、清黨運動は、巷間傳ふるが如く他の無産政黨に逃附の口實を與へ、全無産階級に政黨そのものへの嫌惡を誘發するものではない。前者に對しては、清黨運動を起し得ない政黨こそ眞に階級的政黨ではあり得ないの一言をもつて答へよう。況んや、社民黨のダラク幹部からの逃隔であつたなら、之亦沙汰の限りである。後者の問題に就いては、清黨運動が、全民衆の利害に忠實なる鬪爭の展開と關聯して、之を妨害するものとしての墮落幹部の非行を曝露するならば問題は一つの偶發に過ぎぬ事を悟るであろう。

四、清黨運動の進展は支配階級内に逆宣傳の口實を與へるものであらうか。勿論支配階級の逆宣傳はあり得るに違ひない。しかし、之を恐れて黨の階級性擁護を怠る事は百パーセントの罪惡であらう。巷間の浮説に曰く、清黨運動はいゝ、事だが市會選擧をやつてから云々。しかし、黨の階級性擁護の急は一市會選擧に拘泥してはゐられない。第三項に答へた如く、清黨運動が大衆的規模において民衆の眞先に戰ふならば、市會選擧も階級的力をもつて戰ひ抜かれるであらう。しかも政府對墮落幹部の取引が議會後約束を履行した場合、更に巨額の黄金の收受を約束してゐるから清黨運動は遲きに過ぎてゐる憾みをもつ位である。墮落幹部に金を握らせてはならぬ。無産黨議員を誘惑の魔手より救はねばならぬ。

五、清黨運動を表面化さすにやれと云ふ説がある。吾々は黨の體面、幹部諸君の體面を考慮して問題を秘密に處理せんと企てた。しかし、盗人たけだけしい彼等はその一味の幹部級を使嗾して、問題を有耶無耶に終らしめんと圖りつゝ、裏において清黨運動のデマゴーギを飛はすに至り、清黨運動は表面の問題と化せざるを得なかつた。かくして清黨運動は勃然として起つた。大衆の壓力をもつて、統制委員會を監視せよ。階級的偉力の前に、田中反動内閣と墮落幹部を恐怖せしめよ。日本大衆黨の階級性擁護あつてこそ、初めて合同は完成する。

清黨運動は、日本大衆黨を甦生する偉大なるエネルギーだ。來たれ、清黨運動の旗の下に。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日本大衆黨の結成と左翼分子の任務

——（七黨合同の劃期的意義）——

吉田源藏

（一）

日本大衆黨が結黨した。世人傳へて曰ふ「劃期的大合同」と。たがしかし、その合同それ自體に劃期的な意義を持たすだけでよいであらうか。否!それがよくないことは日本大衆黨を結成した、舊各黨の幹部達の大部分が此の合同それ自體に劃期的な意義を持たせるだけで、既に事成れりとして、固定せしめて仕舞つたことによつて暴露されてしまつた。見よ!日本大衆黨の舊冬十二月二十二日の中央執行委員會に於て決定された、「黨の執行方針」を、曰く

「日本大衆黨は主體の完成を以つて當面の任務を考ふるが故に合同協議會に於て勸誘せし諸黨以外には合同問題は當分打ち切る可し」

「新黨準備會は宗派分裂主義者の指導下にあるものと見なし、これが合法性を獲得すると否とに係はらず日本大衆黨は合同せず、又合同の申込に應ぜず」

「新黨準備會に屬せしものを入黨せしめる場合は、黨支部、黨聯合會に於て嚴重なる調査を遂げ、宗派的分裂主義者の指導を離れたるや否やを見究め、黨本部常任執行委員會の承認を受く可し」と。

最早往日の日勞黨は何處へ行つたか、影も形も見へなくなつて仕舞つた。單一無産政黨主義、階級道德の確立左右の分裂主義の排除、それは何處へ行つたのだ。「合同協議會に於て勸誘せし諸黨以外には當分合同問題は打ち切る可し」と、そして、それが理由は、「主體の完成」にあるらしいが、單一無産政黨主義を奉ずる舊日勞黨が音頭を取つて合同した日大黨が、主體の完政をする爲めに合同を打ち切るとはどうしたことであらうか。

吾々の政黨は分散していることによつて主體が完成されないのである。吾々の黨の主體完成は、全戰線の統一によつてのみ主體の完成が可能なのである。

門戸を閉することによつて主體の完成を計る等とは、苟くも單一無産政黨主義を奉ずる階級的無産政黨の口にす可きことではない。それは、「分離結合」の理論によつて「主體の完成」をやらうとして、多くの裏切をやつた彼のウルトラのでくの棒と、資本家の産業合理化に無條件で賛意を表する勞働ボスだけがやる鎖國主義である

（二）

口に統一を叫ぶところの單一無産政黨主義者が音頭を取つて、そして出來上つた謂ふところの七黨合同後の新黨、即ち日本大衆黨が、何故にかゝる門戸閉鎖をやり、しかも、その門戸閉鎖主義が、從來の舊日勞黨の單なる消極的な、「宗派分裂主義排除」の程度に止まらず、「新黨準備會は宗派分裂主義者の指導下にあるものと見なし、これが合法性を獲得すると否とにかゝわらず合同はせず、又合同の申込にも應じない」と積極的なる鎖國主義を取り、流れ込みに對しても「黨本部の常任執行委員會の承認を受く可し」と、あたかも官廳の許可營業に對する様な形式を取らしめるが如き、何等黨の發展性を認めず、それを固定化せしめやうとしたのはどうしたことであらうか?

私は冒頭に於て、七黨合同それ自體に劃期的な意義を持たすだけでよいかと問ひ、而して否と答へた。勿論吾々は、七黨合同を以つて劃期的合同と云ふことには異論はない。が、しかした、吾々は、それと同時に、合同の結果にも劃期的な意義がなければならぬと云ふのである。

七黨合同それ自體に劃期的な意義を認めながらも、その結果には何等の意義と實益とを何故に彼等幹部共は抹殺しようとするのか?それは彼等が、自己の繩張りの爲めに大衆の合同要求の波に乘つたに過ぎないものだからである。爾來我が無産階級戰線の指導者共は、其の利己主義から口に統一を唱へ、そして口に統一を唱へることを以つて、それで分裂狀態を維持し、やうやく彼等の地位が保たれていたのであつた。

（三）

しかしながら問題は進展した。そして大衆は生長した彼等指導者は口に統一を唱へることによつて、分裂の狀態を續けて行くことは出來なくなつた。大衆は戰線の分散から來る苦痛をひし〳〵と感じて來た。幹部は最早分裂の爲めに統一を唱へては居られなくなつた。そこで彼等は口に唱へてゐる統一を、彼等自身の意に反して實際化せねばならなくなつた。

かくして出來上がつた合同が謂ふ所の劃期的大合同の七黨合同であつて、即ち日本大衆黨の結成である。嘗て舊日勞黨は屢「主體の完成」に名を藉つて「合同を打ち切つた」ことがあつたし、舊日本農民黨は、其の立黨の精神は、「先づ結合し得るものから手を握らう」と云ふのであつた。しかも彼等は單一無産政黨主義の把持者であつた。そのことが彼等をして一黨の「領袖」たらしめたのであつたし、又分裂の狀態が續けられたのであつ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

たし、それは大衆の合同要求を押さへることにも役立つた。

しかるに大衆は、最早、單に右翼との合同、或は左翼との合同等との、一黨や二黨の合同要求ではなくなつた全政黨の合同を欲求してきた。そこで指導者は考へた、大衆自身が此の分裂状態の籠を破れば、直接自分達に危機が來る。そこで彼等は、當面此の矛盾を克服せねばならぬ。此の矛盾を克服する爲めに結成された日本大衆黨が積極的鎖國主義を取る。實に宜なるかなと云ふ可しである。即ち彼等繩張り主義幹部達は、其の自己の繩張り主義を、一段高き形態に於て維持して行く爲めに「可能なる範圍」(註)のから合同を押し進めたのである。從つて此の合同された新黨、日本大衆黨は當然に其の固定す可き性質を持つていたのであり發展性のある黨とすることは嚴禁されるものであつたのだ。即ち分裂状態を保存する爲めに、單一無産政黨主義が此處でも彼等の武器となり得たのである。

たがしかし、彼等繩張主義者の陰謀は成功したか、そしてするであらうか？否！斷じて否！

（註）「可能なる範圍」からとは、彼等の繩張り主義の遂行を保證せられる範圍からと云ふ意味であつて、一段形態は高めるが、依然として單一無産政黨主義の名に於て、又左右の分裂主義排除の名に於て、更に又、階級的止揚確立の名に於て、主體の完成の名に於て、依然として分裂状態を維持し得るとこの可能なる範圍そしてその故に彼等繩張り主義者の各々が、階級戰の陣營内に於ける彼等の地位が保證せられる範圍を謂ふのである。

（四）

戰線統一の掛け聲勇ましく、五黨！否七黨の合同は成つた。たが口に統一を唱へ、階級道德の確立を叫び、分裂主義の排除を呼號しながら自己の繩張りを爭はんとして七黨合同の波に乘つた連中の陰謀は成功したか？そして成功するであらうか？

それを知るには吾々は、先づ、七黨合同が如何にして出來上がつたか。三黨合同から四黨合同へ、更に五黨合同へ、そして遂に七黨合同へ如何にして進んだか、此の合同の爲めには、表面主役を演じた舊日勞黨の幹部で、單一無産政黨主義者の源である田所氏の「七黨合同から十二黨合同へ」の言葉にもかゝはらず、合同直後あはたゞしくも固く門戶を閉すに至つた彼等幹部の腹の底の底を知らねばならぬ。

日本勞農黨、日本農民黨、九州民憲黨其の他の地方政黨は、無産大衆黨と同じく、何れも過渡的の役割と使命をのみ以て生れたものではあつた。しかしながら、各黨の指導者達も、それの使命と役割とを知つてはいたが、否！知つて居たが故に彼等は地方政黨を作り、別個な政黨を作つたのであつた。さて、そこで、彼等は過渡的な使命と役割を以つて乘り出して見たら、そこには彼等自身を、彼等自身として存在せしめるような社會的條件が作り出されて來た。そして、その條件は彼等をして過渡的な任務と役割を忘れしめた。言葉を換て言へは、彼等が自前稼ぎの味を占めたと云ふことである。

けれども、如何に彼等が自前稼ぎの味を占めて居るとは言へ、彼等に過渡的な使命と役割を持たさせて起たしめたところの先進分子、左翼分子は、彼等が自前稼ぎの味を占めやうが、占めまいが、彼等に負はした任務はどん〳〵遂行せしめやうとした。彼等は幾度か、「主體の完成」「吾等の戰線統一は部分的にあらず、全戰線の統一なり」等々の所謂「單一無産政黨主義」の立場から自前稼業の立場を固守して來た。

たが、飽くなき支配階級の攻勢と、味方の陣營内の對立抗爭とは、幾多の實踐鬪爭を通じて、直接大衆は戰線の分裂による不利益を痛切に感じた。右翼の反動化と、左翼の極左化との爲めに、四分五裂になつて行く戰線を統一させる爲めに、右翼と極左に對立して單一無産政黨主義を奉ずる指導者達を援けて來た少數の左翼分子は、今や大衆の要望を一身に集めて、過渡的な任務と役割を忘れた指導者達に斷乎として迫つた。從つて彼等指導者達も期限の來た手形は決算せねばならなかつた。たが彼等は、自前稼の途上に於て、手形の書き換への妙術を會得していた。

けれども、如何に手形書き換への妙術を會得してゐたとは言へ、支拂ふ可くして仕拂はれた負債ではなかつた彼等の手形の決算は、仕拂ひの爲めの決算ではなく、負債を新しくする爲めの手形の決算で、しかも書き換へるには書き換へたが、忽ちにして期限が到來したのであつた。即ち彼等自前幹部は、各自の自前稼ぎの基礎がグラついて來たので、彼等は彼等の自前稼ぎのノレンである戰線統一を持ち寄つて、一方では大衆の要望を最少限度に押へ、他方では各自の自前稼ぎの基礎をきづかうとした。

（五）

彼等が七黨合同の本旨には劃時的な意義を持たすが、それの結果には、發展性をもぎ取つて、何等の劃時的な意義を持たさず、積極的な門戶閉鎖によつて黨を固定化して仕舞つたのは以上のような理由からである。

では日本大衆黨は全く發展性がなく、固定化して仕舞つたか？決してそうではない。合同以前に於ける各黨にしてすら、各の黨の大衆は、著しく成長し、意識分子、先進分子、左翼分子の階級的立場の嚴守と、これを支持するところの大衆の生長した力とは非常な壓力を繩張主義の幹部に加へた。

しかも、かゝる部分々々の大衆の壓力が、今回の合同によつて統一された。かゝる大衆の壓力の常に原動力であるところの、意識分子、先進分子、左翼分子の力も又非常に大きなものとなつた。かくして今や、合同後の黨――即ち日本大衆黨には、それの頭部を形成するところ

の左翼分子の一團が極めて自然生長的にではあるが出來つつある。而してこれ等の左翼分子は、合同前の舊各黨から合同によつて接近し合つたものである關係上、右翼幹部にも、又諸勞農黨方面にも多くの先進を持つている。

これ等の左翼分子は此の合同黨をして眞に戰線の統一の爲めの合同黨たらしめねばならない。合同以前の各黨内に於てすら利己主義幹部を壓迫して來た左翼分子と大衆の生長力は、合同によつて一段の力を增したるにも拘らず何故に黨を固定せしめるに至つたか？それは左翼分子が此の黨に於て未だ意識的な努力による結合がなかつたからである。

日本大衆黨をして發展性のある黨、卽ち謂ふところの唯一無產政黨結成を、そして全勞農戰線の統一の爲めに闘爭するところの階級的政黨たらしめるには、黨內外の意識分子、先進分子、左翼分子が意識的努力による結合によつてのみ成されるのである。

かくて、始めて、日本大衆黨の結成自身にも劃期的な意義を持つものであり、其の結果にも劃期的な意義と實益を持つものである。

一九二九、一、一六

(註) 此處で私の言つた「左翼分子の意識的努力による結合」とは、それに技術的方面に於ける努力の加はることも絶對必要なことは勿論である。だがこれを、以つて直ちに、河野氏の言はれた「合法的前衞黨」と解されては困る。それは、言ふ迄もないことだが「各政黨共同で左翼分子を養成する」と云ふようなことが出來るか、出來ないか、少くとも現在の狀勢に盲目でない限り分りきつたことであるし、そして、單なる啓蒙的教育機關で前衞分子が製造されるものでもない。

全國青年團體會議を提唱せよ

全國勞農青年同盟創立大會提出議案の一

主文

全國青年團體會議を結成し、當面の共通的闘爭題目を提へて猛烈果敢なる共同闘爭を展開し以て全國の分散せる勞農青年戰線の統一促進の一助とする。

理由

全國の無產青年は、無產青年獨自の立場より強力なる闘爭を展開するために、全勞農青年戰線の統一を切實に要望してゐる。

然るに、現實の青年戰線は、無產政黨、勞農組合の分裂に禍されて幾多の小團體に分裂を余儀なからしめられてゐる。我々は帝國主義世界戰爭の危機を前にして寸時も早く全青年戰線を統一し、闘爭力を結集し、以て眞實に強力なる闘爭を展開し、帝國主義ブルヂョアジイの野望を木つ葉微塵に粉碎しなければならない。

だが、然し乍ら我國解放戰線の一部を侵すに至つた右翼的(例へは赤松克麿君の現實主義)或ひは左翼的(福本主義)言辭を以てした分裂主義理論の惡影響は、未だ淸算しつくされてゐない。

從つて熾烈なる勞農青年統一の要望にも不拘ず、今、直に全青年戰線の統一を實現することは事實上不可能であるかの如くである。我々は飽も純眞なる階級的立場より、全青年戰線の即時統一を要望して止まないけれども、現實の情勢が如上の如くなる以上、我等は飽く迄、かゝる現實の情勢に即し、統一の前提として、先づ可能なる範圍の共同闘爭題目を提へて共同闘爭を敢行し、以て闘爭の實踐を通じて同志的精神の釀成につとめ、また、この共同闘爭を通じて戰線の統一こそ全勞農青年の要望達成の路であることを明かにし、以て統一の機運の釀成につとめんとするものである。

以上の理由により、本大會は全國青年團體會議の提唱を決議し、以て統一への闘爭を積極的に開始しなければならぬ。

而してこの團體會議に對する吾等の希望はかうだ。

(一) なるべく強力なる統制機關ある永續的機關とすること

(二) 合法的なる一切の青年團體をこの會議に結集すること

(三) 左記事項は青年團體會議に於て共同闘爭題目として取扱ふべきである。

イ、戰爭反對 ロ、官制男女青年團及處女會反對 ハ、青年男女の政治的自由獲得 ニ、青少年勞働者保護法の獲得 ホ、青年訓練所自主化の闘爭 ヘ、學問研究の自由、校內自治權確立の爲めの闘爭 ト、惡法反對 チ、無產戰線の統一

(四) 即時團體會議を成立せしめ以上の中第五十六議會に關聯せる闘爭は團體會議の名に於て直に全國的に捲起されねばならぬ。

×

全勞青年同盟創立大會は右の提唱を滿場一致可決したのであるが、必ずや、この正論は社會青年同盟及其の他の青年團體をして、參加せしめずにはおかぬであらう。すでに、社會青年同盟の人々は、同盟として參加が出來ぬ樣であつたなら、有志としてゞも參加する意見をもつてゐられる。

青年同盟こそ眞先に、統一しようではないか、全國青年團體會議萬歲、

×

吾々がこの創立大會において最も遺憾に思つたのは、日本大衆黨の統制委員會に警告を發するの緊急動議が成立しなかつた事であつた。日本大衆黨の墮落幹部を、糺彈し日本大衆黨の階級性を確保し、合同を完成せしめる爲めにこそ、吾青年同盟は、特に統一主義の政黨としての日本大衆黨の批判的支持を聲明したではないか。

全國勞農青年同盟をもつて邁進しよう。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

凱歌を擧げて次の闘爭へ

——日本無産、全國勞農兩青年同盟の合同——

中川徹

◆

昨秋十月廿八日、我等は日本無産青年同盟結成のためその準備會を設立して、單一的大衆的無産青年同盟の大旆を全國にひらめき立てようと決心した。當時、無産青年運動は、無産階級陣營の分裂そのまゝの收拾し難い四分五裂の慘憺たる狀態であつた。云ふまでもなく、この分裂をして更に悲慘ならしめた青年運動を愈々骨拔きのものとしたのは、去春三月十五日事件につゞく勞農黨解散と運命を同じうした全日本無産青年同盟の潰滅ではあつたが、この同盟はその性質的には××青年同盟に轉換しつゝあつたから、現在の無産青年の成長に應じた大衆的青年同盟の新しき結成は當然青年大衆の要望として表れ來つた。無産青年大衆は、明白に全日本無産青年同盟の功罪を認識し、あらゆる無産青年層から、自然發生的に青年運動の統一的再建が叫ばれ始めた。かゝる傾向は獨り青年運動の分野にのみ特殊なものでなく、到處に勞働者農民は力強く統一された戰闘單位を要求してゐたので、この間の交互作用は更に我等の聲の響く範圍を擴め、同志の耳朶を動かした。そして、その結果、同志上杉が昨秋以來數回に亙つて報導し且つ批判した樣に工場から、農村から、また街頭から叫ばれた聲は、やがて組織確立の運動となり、各無産政黨下に結集されてゐる無産青年の合同的機運をも釀し出すことゝなつた。この時、狼狽したした者は憐むべき政黨幹部と組合幹部とであつた。事實は何物にもまして雄辯である、見よ、社民黨の青年先進分子は、この止み難い要望にかられて青年運動戰線統一への積極的進出の一段階として社民黨青年の戰闘的組織體を結成しやうとしたが、この事は幹部の狂暴な抑壓を招いて、遂に天下り的、官僚的、隷從的な「幹部派」といふレッテルを貼付された青年同盟を持つに至つた。多くの先進分子の要望と努力とを空しく蹂躪されて。舊日勞黨の青年分子も、最初は非常な意氣込で第一歩を踏みたしたが、それが東京地方に於ける限りでは漸く政黨並びに組合幹部追從主義に墮落して行く危險と實際とを態度か我等に示した。我等は、かゝる事の早晩あるべきを豫見して、いち早く、無産青年の同盟の進み行くべき基準を示さねばならぬことを痛感し、諸青年同盟に先立つて其の態度を明かにし・以て悲しき分裂の裡から希望に滿てる統一への道を開拓しようと敢然として奮ひ立つたのである。我等日本無産青年同盟準備會はこのいばらの道を過去三ケ月血みどろになつて歩み續けて來た。黨内に結成された各青年同盟は、我等の主張する「政黨中立」を外に嘲笑し誹謗して超階級的とし恒久性なきものとしたが、内にはその鋭利な理論のもつ眞實性が青年大衆の要望に合致して我等の旗の行く所、凱歌のあがらざるなきに怖れた。しかも舊日勞黨内部の全國勞農青年同盟準備會の關西に於ける青年先進分子は、その主張を我等と同じうし、我等と呼應して、その内部より全國勞農青年同盟をして正道を行かしめんと奮迅の勢ひで抗爭した。勿論東京地方でも前述の危機と常に抗爭し來つた有力な分子があつた事を否認するのではない。此等の分子がなかりせば、今頃は更に混亂した分野を展開した事であらう。

我等日本無産青年同盟準備會は云ふまでもなく、過渡的な暫定的な闘爭——即ち戰線統一のための抗爭——のためにのみ存在するものではない。舊分裂黨の青年が、「組合青年部」に立て籠つてその殘壘を固守しようとするのは狂信に近いが、その日常闘爭を主眼におく點は我等と軌を一にしてゐる。戰線統一主義は、無産階級解放の日を用意する日常闘爭の強化と大衆化のために要求される戰術であり、しかも主として日常闘爭の展開によつて成就されるのである。我等の戰線統一主義が完全に勝利を博する日こそ、我等は、我等の採用した、「暫定的にして恒久性なき政黨中立」を破れた靴の如く棄て去る日である。

◆

今やその勝利の殿堂に一歩近づいた喜びを頒つべき日即ち一月廿日に就いて語らねばならない。

全國勞農青年同盟準備會は、十二月廿日大衆黨合同による、日本大衆黨の發生の日、墮落せる幹部追從主義より脫出し、眞に全無産階級的——即ち單一大衆的な立場をとる青年同盟結成に邁進すべき事を誓ひ、この青年同盟と同樣に戰線統一主義をとる政黨を批判的に支持する以外、全く政黨的偏倚をなさゞる態度に轉じつゝあつた。これ等は、新に加入せる先進分子と關西大衆の内部よりする努力と、諸青年同盟と友誼を保持しつゝ常に之に刺戟を與へ來つた我等日本無産青年同盟準備會の外部よりする影響に基くものである。同夜の勞農青年同盟準備委員會は、實に滿場一致を以て青年獨自の組織確立に一路直進すべく決定し、關西の先進分子は日本無産青年同盟準備會に向つて即時該同盟に加盟を慫慂した。我等は、勞農青年同盟が日本大衆黨を背景にしつゝも、倘且つ戰

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

線統一のため幹部の力をはね飛ばし眞個の統一的青年同盟結成に奮闘したことを同志的な友情を以て賞讃せざるを得なかつた。

併し我等は深い考慮を拂はねばならぬ事實を持つてゐた。それは該同盟の内包してゐた諸勢力の反撥的傾向である。日本大衆黨それ自體がまた共同戰線黨に過ぎず、しかも同黨の母體たる舊日勞黨系の青年分子中には幹部追從主義者が尠くなく、該同盟結成までには幾多の困難があり、障碍がある。かくの如き有樣では、單に準備委員會の形式的議事一致は甚た心許ない、何時逆轉するかも知れぬといふことを危懼した。殊に十二月廿日の準備委員會は、日本大衆黨結黨後、即ち午後十時半を經過して開催されたので、「たゞ無産青年獨自の運動展開のため、統一的大衆的青年同盟を持つ」といふ意志表示に止まつてゐる、——無論一片の辭令としてゞはなく、熱意の溢流としてのものではある——そして我等は、全國勞農青年同盟結成の曉には日本最大、そして最有力な無産青年團體である事を知つてゐるから、この同盟に積極的に働きかけねばならぬ。此處に於て、問題は、

我等は如何にせば全國勞農青年同盟をして最も正しき針路をとらしめ得べきか。

に集中して來た。全國勞農の關西分子は我等に向つて、即時日本無産青年同盟準備會を解體し、全國勞農青年同盟準備會に流入して、青年運動を歪曲しようとする分子と内部にあつて戰ふべしと再三提言したのであつた。ではあるが解體流入は既に鬪爭團體の面目を具へた我等の採用すべき戰術ではない。我等は飽くまで團體的行動によるべきを信じ、準備會をして新生の全國勞農に合體する方針を採用した。これは内部にあつて個人的に正義を守るよりは、準備會の力を以て、新同盟創立共同準備の形式を採用せしめた方がより強力であり、更に新同盟が我等の希望せざる方向に轉ずるならば共同準備會から脫退して、我等既定の方針で直往することも出來る。

◆

日本無産青年同盟準備會は、以上の方略を定めて、全國勞農青年同盟準備會に新同盟共同準備委員會設置を申

全國勞農青年同盟
創立大會宣言

鬱積された全日本無産青年の不滿と要望を代表して眞に果敢なる鬪爭を展開し得る組織は成つた！永きに亘つて全日本の無産青年が求めて止まざりし青年同盟は茲に愈々出現した。わが全國勞農青年同盟即ちこれである！

一

曾つて光榮ある歷史的使命を帶び我國唯一の階級的青年同盟として、その輝ける未來を約束されたりし全日本無産青年同盟はその指導精神の誤謬に加ふるに所謂對立分離主義に禍されて、遂にその大衆的基礎を失ひ而も帝國主義ブルジョアジー（資本家階級の代辯人によつて昨年四月その合法性は剝奪され、最後的にその組織は潰滅さるゝに至つた。

又、他方、右翼青年大衆の階級的成長の成果としての自主的青年同盟組織の運動は事半ばにして早くも右翼幹部によつて準備會解散の彈壓を蒙り、遂にその獨自性は放棄するの止むなきに至らしめられた。

かくて彈壓に抗して、その獨自性を墨守しつゝ、その合法性を極度に迄發揮して、奪はれたる戰線の進出的再建のためにも全無産青年の先頭に立つてたゝかふべき大使命は、今や、わが全國勞農青年同盟の双肩に投げかけらるゝに至つた。

さはれ、われらは進む！全國同志の怒濤の如き歡呼に送られて、階級的單一青年同盟結成の旗を高く掲げてすゝむ！

二

基よりわれらの鬪爭の路は平坦ではない。それは實に荊と血を以て約束された苦鬪の路である。見よ！支配階級の帝國主義的侵略政策と無産階級抑壓政策は日に益々辛辣を極めつゝあるではないか。

かゝる政策は全無産青年を直接の犧牲となす帝國主義戰爭の危機を尖銳化し、言論、集會、出版結社の自由を正に一片の空文たらしめるものである。

而して全土を襲ふ資本主義的産業合理化の波は、工場閉鎖、賃銀値下大量馘首となつて、勞働者就中青少年勞働者の生活を極度に追ひつめ、脅しつゝある。

聞け！典型的帝國主義に抗し搾取の加重に抗し、全土の無産青年が擧ぐる悲痛なる反逆の叫びをしかも、全無産男女はこの鬱勃たる不平不滿を表明し反映すべき一切の政治的自由を奪はれてゐる！

これら一切の、無産青年大衆の不平不滿のための鬪爭こそ、われらの鬪爭の集中的目標でなければならぬ

三

全無産青年はこの要求のために益々力強く鬪はんがために、單一青年同盟の結成を切實に要望してゐる。

右翼幹部の抑壓に抗して階級的組織を奪還せんとする青年の鬪爭、又極左幹部の焦燥と合法性放棄主義を排して統一の旗を掲げて大衆的青年同盟樹立のためにまい進する青年の鬪爭、これらの鬪爭に參加せる青年大衆の果敢なる日常鬪爭とその緊密なる同志的精進に基く共同行動を通じて、統一實現のために勇敢にたゝかふことこそ、實にわが同盟當面の主要任務である。

四

もとより、全無産階級の解放なくして無産青年のみの解放はあり得ない隨つてわれ等の全鬪爭は無産政黨の緊密なる協力援助とその階級的政治鬪爭への結合と促進を絕對に必要とする。

而して今や對立と分裂抗爭の苦き經驗は階級的無産政黨をして全無産政黨合同の方向へと向はしめた。われらが要望して止まざる階級的單一青年同盟獲得のための鬪爭こそは、分裂せる無産政黨に對する一大衝擊となつて、必ずやその統一を招來するであらうことをわれらは確信する

さらば全國の同志よ！まい進しよう！全無産青年の要求を擁して一路果敢なる解放のための鬪爭へ！

帝國主義戰爭の危機とたゝかへ
十八歲以上の青年男女に選擧權被選擧權を與へよ
青少年勞働者保護法を制定せよ
階級的單一青年同盟の結成へ
全國勞農青年同盟萬歲

昭和四年一月二十日

勞農大衆黨の結黨に當り本支部の態度を聲明

舊勞農黨の解散後、極左分子の指導權の下に組織されたる「新黨準備會は」その方針の上に絕えず幾多の動搖があつたとは云へ非結黨主義的態度だけは終始一貫してゐたのであつた。昨年八月我等が斷然舊準備會から分離して、日勞黨の支部を創立したのは全くその爲に外ならぬ然るに舊準備會内の結黨派たる水谷君神田君等が極左の非結黨主義に積極的に抗爭し得ずまた彼等と分離もなし得ずして、最後まで彼等に引づられ利用されて來た煮え切らない態度には我等は甚た飽き足らなく思つてゐたものである我等の正しき見透しと不斷の努力の結果、昨年末無産七黨の合同によつて我が日本大衆黨は結黨され戰線統一への巨大なる第一歩の踏みたされたることは、舊準備會の結黨派に對して大なるショックを與へるに至り、舊準備會の解散を機會に水谷君、神田君等も亦後れ馳せ乍らも漸く我等の方針に追隨し、極左派と分離して、勞農大衆黨を結黨するに至つたことは喜はしき次第で

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

込んだが、これは即座に快諾された。これ一月六日のことであつた。

我等は創立大會に附議さるべき宣言、綱領、規約、主張、スローガン等に就いて批判を加へ是正すべきものがあると思ふが、それ等の一切は廿日の創立大會で充分論議もされ樣から、今は言及しないで置く。勿論夫の機關に批判すべきものは批判し、殊に新生の青年同盟の鬪爭方針に就いては具體的な檢討を試みんとするものであるが、併し一應無產青年大衆の注意を喚起したい問題を提出してこの稿を了りたい。

何を問題とするのか。それは組合──勞働、農民──内の青年大衆を實質的な同盟員として組織敎育し行く方法である。全く未組織の青年大衆の獲得、組織は一見頗る困難に見えるけれども、有能な宣傳部組織部を有して根氣よく處女地開拓者の勞苦をいとはざるに於ては、むしろ同盟を全部的に支持する一部隊をつくり出すものである。日本無產青年同盟準備會の通過して來た道は、それ故にいばらに滿ちてゐたが、また功果多きものであつた。今後も組織の擴大化は、かゝる廣大な未組織青年層、及びブルヂョア敎化運動に從屬する青年層──青年團、女子青年團──の獲得によつて成就されるのである。併し今日當面せる組合青年大衆を實質的同盟員たらしめる事は、容易に見えて、しかく容易ならざる問題である事は少しく組合や政黨内部の事情に通ぜらるゝ人々の既に知らるゝ如くである。無產青年運動を、單に組合青年部以上のものたらしめざらんとする各政黨、組合幹部の努力を知る時、よし組合の青年が同盟員たる事を許可しても實質的に有名無實のものたらしめ樣と抑壓するであらう同盟員を放逐するかも知れぬ。しかも無產青年同盟の本質は、幹部追從主義ではない。我等は此點を如何に全國勞農青年同盟が解決し行くかを興味ふかく眺める。否、傍觀にとゞまる者でない。誕生日の祝辭として一語を呈しよう。ダラ幹の手より無產青年を戰ひとれ。と。

凱歌をあげて次の鬪爭へ躍進せよ。

ある。たゞその結黨に當つて、諸君が昨日まで消極的にもせよ支持して來つた舊準備會の後身にして、且つその方針に於ても、以前と何等根本的相違なき「勞農同盟」一派に對して假に「共產主義者」云々「×××」との關係云々等の攻擊を浴せかけつゝあることは、故らに政府の注意を彼等の上に集中せしめ、官憲の前に自分等のみ、よい子たらんとするかの如く解せられ、頗る感心しない態度であると考へるこの點切に諸君の反省を促したい。最後に我等は勞農大衆黨が我が黨根消によつて地方の獨立政黨として固定することなくどこまでも立黨の精神に、忠實に現在最も可能性ある我黨との合同を速かに實現すべく邁進し合同に至る迄は我等との間に密接なる提携を結び共同鬪爭を行はん事を望むと共に我等も亦た其のために最善の努力をなすべき事を誓ふものである。

昭和四年一月二十日

日本大衆黨京都府支部

全國勞農青年同盟綱領

一、我等は階級的立場より全無產青年の政治的經濟的社會的解放の實現を期す

一、我等は青年の立場より軍國主義に對して徹底に反對す

一、我等は明確なる理論と實踐を涵養し以て無產階級解放運動の階級性を擁護す

一、我等は勞農青年の全國的結合を期す

主張

一、滿十八歳以上の青年男女の選擧權被選擧權の獲得

一、滿十八歳以上の青年男女の陪審員選擧權被選擧權の獲得

一、兵卒の言論、集會出版結社及選擧權被選擧權の獲得

一、兵營内に於ける兵卒の人格權の確認

一、一年志願兵制の廢止及一年兵役制の實施

一、兵卒に標準生活費支給要求

一、戰死、傷病兵及廢兵による家族の窮乏に對する國家扶養の實施

一、除隊後の職業保證

一、青年訓練所青年團及處女會の自主化

一、學生の軍事敎育其他民衆を軍國主義化する一切の政策反對

一、青少年勞働者特別保護法の制定

一、女子及び少年の人身賣買の禁止

一、殖民地青年男女に對する政治的經濟的社會的差別撤廢

一、水平社青年男女に對する封建的賤視觀念の打破

一、無產者階級抑壓諸法令の撤廢

一、言論集會結社出版の自由獲得

一、青少年勞働者の六時間勞働制の確立

一、婦人及滿十六歳以下の少年の夜間勞働、船内勞働　坑内作業、有害危險作業の禁止

一、同一勞働に對する年令による賃銀並に解雇手當の差別撤廢

一、一年に四週間の休暇及び休暇中の日給全額支給

一、徒弟年期奉公制度の撤廢

一、强制的寄宿制度の廢止

一、義務敎育機關の增設及び義務敎育費全額國庫負擔並に八年制延長の即時實施

一、補習敎育學校職業敎育機關の增設完備とその自主化

一、圖書館の充實とその無料解放

一、男女敎育の機會均等

一、學生々徒の學問研究の自由及び校内自主權の確認

スローガン

帝國主義戰爭の危機とたゝかへ！

官製青年團青年訓練所を青年の手に！

學問研究の自由を與へよ！

青年男女に政治的自由を與へよ！

青年勞働者保護法を制定せよ！

全國の勞農青年團結せよ！

清黨運動ゴシップ

×

田所輝明君、某には僕も待合へ行つたと云ひ、某には金を出されたけれども受取らなかつたと云つておいて、清黨運動にはそんな事は無いと否認する。某氏田所を評して盗人たけだけしい。

×

幸の湖事件でシッポを出した河野密君、白々しくも清黨運動領袖に御出張、さて、鈴木茂三郎氏、三輪壽壯氏、福田狂二氏、吉田源藏氏、加藤利藏氏等連座になつて懇談中幸の湖事件を突込まれ「あれは冗談のつもりで云つたのですがね」と白とぼける、これも盗人たけだけしいの一味か。

×

勞農新聞の漫畫が麻生久に似てゐると云ふので大問題となり、猪俣氏に詰問狀が行く騒ぎ。眞實ならは仕方があるまい。詰問狀とは之亦盗人たけだけしい。

×

清黨運動のビラを見て田所「俺が藝者とダッコしてゐる寫眞でもあるかと思へはこんなものか」とさぼける。ふざけるな。そんな閑はない。こゝにも田所の老猾さがある。その手で胡摩かそうとする氣かい。全く盗人たけだけしい。

×

それにしても日本大衆黨が買つて一萬一千圓とは全く安い、安賣が人氣を博するとは世の常。無產黨の安賣は一寸珍しい話さ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

清黨運動に關するハガキ回答

猪俣津南雄

御手紙ありがたう存じました。茲數日不在だつたので返事がおくれました。

すでに申上げてあります通り、此の問題は、果して醜事實が存在するとすれば、階級的立場から見て論議の餘地なき問題です。しかし、單に情況證據によつて事實を推定し得るといふだけでは、運動としては失敗する性質のものと信じます。どうしても、もつと實證的な證據が必要だと信じます。そういふものがなくて、單に他人の證言などに基づき、推定をもつて排撃を始められるならば、いかにその推定が正しく、醜事實が存在してをつても、運動としては失敗を免れません。階級的に最も意識ある運動が、最も愚劣の運動が、むざ〳〵と敗北し、却て階級的損失を招くでせう。

言ふまでもなく僕がかやうに申上けるのは、問題を輕視し、運動に無關心だからではなく、反對に問題を最も重要視し、運動に對して最も關心を有し從つてその眞の成功を念ずること最も深きが故であります。十分の用意を整へる爲めの努力は、敢然起つて戰ふ時の努力と同樣に必要です。否、前者なくして後者は不可能です。

問題

（一）自己の所屬せる政黨の幹部が、議會において政府に合流する、其の他非階級的條件の下に、支配階級に黨を賣りつけし場合は黨員は如何にして黨の階級性を擁護し清黨運動を起すべきか。

（二）又、その醜惡なる金によつて合同し、或ひは合同後の行動を條件として金を受取り合同したる場合、この清黨運動が合同統一を一時的に混亂せしめる事が豫想される。が、合同せる大衆組織を混亂せしめないで墮落幹部を排る事が必要である。それは如何にして行ふべきか。

締切一月十八日　　進め社編輯部

第二に、――これも既に申上げてある通り、僕は、前記の如き、何人をも首肯せしめ得るやうな實證を握らずして、排撃戰を開始されることはいけないと思ひます。いかに、排撃すべき事實が實在し、從つて排撃が正しくても、もし確たる實證を大衆に示さぬならば、敵は排撃者の武器を逆用して排撃者を打ち負かすに極つてゐます。正義の爲め、階級のために戰ふ者が却て中傷者の汚名をうけ、組織の攪亂、大衆團體分裂の責めを負はされます。

僕は、何人をも恐れません。ただ、拙劣な運動方法を恐れるのみです。不十分な準備の下に、運動を開始されるならば、多くの同情者をさへも、行動上極めて困難な立場におちいらしめるでせう。

第三に、――これもすでに申上げてある通り、――僕は、「黨內革新―分裂防止」の旗をかゝげ、且つ實際にそれを目標として戰ふべきだと考へます。從つて、

（1）私的な勢力爭ひや指導權爭奪のためのものであつてはならぬ

（2）黨の分裂を來たさしめてはならぬ

（3）勿論、單に私憤を晴らすことや、單に少數個人の政治的生命を奪ふことを目的とするものであつてはならぬ

言ひ換れば、革新運動の結果として、黨が一層強大にならなければなりません。その反對であつては、革新運動ではなくして破壞運動に終るでせう。僕は、そういふ方向をとる運動を推し進める譯には行きません。

黨を強大化すやうな革新運動であり得るためには、黨の全大衆が本氣で起つて根深く戰ふことにならなければなりません。それには例の「確たる實證」が必要です。「實證」があれば、必ず廣汎な大衆が起ちます。しかも、そういふものがなければ、たとひ一時は一部の大衆が起つても、武器の逆用によつて敵が逆襲すれば、大部分の黨大衆は迷ひます。そして結局は少數正義者派の敗になり、却て黨の實力を弱めます。僕は線香花火式の運動を輕蔑するものです。

革新運動が意義あるものであればあるほど猪突的なものであつてはなりません。反對に、それは必時的な方法で押進められねばなりません。それ故にのみ、僕は、以上のことを繰返し申上げる次第です。以上

加藤勘十

貴問は無產政黨の行動に關する一般的規定としての出題として回答申上けます。

一、一般論としては論議の餘地なき問題であります。無產政黨が將來に發展性をもつてゐる限り清黨運動は當然のことであります。無產政黨は幹部の占有物ではありません、黨員全部同等の權利の上に立つものであり、幹部は只、黨の機關の運用に任ずるに過ぎないのでありますから、幹部の反階級的行動に對しては黨員大衆が承知いたしますまい。

二、かなり具體的問題のように思はれますがそれには充分なる根據を必要とします、嚴正、適確なる根據の上に立つものならば、引責を求めるの他はありますまい、それが適確なる根據に立つ限り黨員大衆は混亂に陷るが如きことはないと信じます。只浮說によつての輕擧は避けなければなりません。

帆足理一郎

一、黨員有志結束して幹部に自決（辭職）を促すより外に途はないでせう。

二、これを平和裡に行ふにはその適確な事實を指摘して幹部の辭職を迫り、受容れざる時は有志大會を催して事件を公的に裁決し、新幹部を擧げて、大衆黨の結束を新にし、舊幹部を除外するより外はないでせう。何等の暴力や暴言や脅迫がましい手段を用ゆることなければ、きつと好結果を見ること

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

が出來ます。

亀井貫一郎

一、ワタクシワ ゼツタイニ ブンレツシナイ、タスウヲ セイシウルマデ マダ タスウヲ セイシウベキ ジヨウケンノモトニ カイキユウテキ ミンシユシユギテキ セイサン セイリヨクヲ パイヨウ イタシマス

二、ダラク カンブ ニ、タイコウスル セイサン セイリヨクチウニ ヒト マタハ ヒトノクミアワセヲ ヨリ ユウノウノモノトスル コトガ ヒツヨウデアル カイキユウリロンガ ヒトノ モンダイ ヲ ケイシ スルコトワ ダイナルゴビヨウニ トウタツスルコトガ アル。

川崎茂

一

二つを一纏めにして答へる。又問題は「日本大衆黨」の事と察するが故に——何故ならば我々は假定に立つて論議する事は無意味だから——現實問題として取扱はねばならぬ。

社會民主々義的政黨は右翼たると左翼たるとを問はず、その幹部と鬪爭的大衆との對立は必然である日本大衆黨は成立と共に此矛盾を孕んで生れたものである。

さて問題の如く「醜惡なる金」や「支配階級に黨を賣る」様な墮落幹部があるとすれば（又事實單なる噂ではないと信ずる）之を徹底的に葬り去る事は黨員の全責任であり急務であらねばならぬ。又當然摘發し得るであらう。大衆は正直であり、大衆は××的鬪爭的である。階級的裏切り者を信ずる事は出來ぬ。

「清黨運動が合同統一を一時的に混亂せしむる」恐れは少しもない。それこそが階級統一への鬪爭ではないか！混亂するのは彼等ダラク幹部のみ。

二

然らば「如何にして行ふべきか」の問ひへの答へとして自分は、斯く考へる。

共は「清黨運動」として獨立的に把握すべきでなく無產階級の當面するあらゆる鬪爭と連關したる運動及び黨の階級的統一の見地と結びついて把握されなければならぬ

かゝるものとして把握する時、我無產階級の當面する具體的鬪爭目標は何か？

云ふまでもなく、あらゆる鬪爭のうち集中的政治的鬪爭は當面議會へ向つての鬪爭即ち「田中反動內閣の打倒」である。されば日本大衆黨の黨員大衆は此運動を組織的に強力に展開し遂行することであらねばならぬ。それは他の無產黨の先頭に立つて大衆的に眞に勇敢に戰はねばならぬ。此鬪爭は從來の如き單なる大會の決議・聲明書で終つてはならぬ。大衆的屋外デモンストレーション（此場合合法×××を云々する如きは沙汰の限りだ）の形式を中心とするものでなければならね。

此鬪爭こそは非鬪爭的幹部を鬪爭に強要し、彼等の反階級的陰謀を暴露し粉碎し、彼等の「議會主義」策一を無視し、大衆の要求を其儘議會に反映さするであらう。

かくの如き鬪爭過程に於てのみ非階級的ダラク幹部を揚棄し、ダラク寄せ集め主義の合同黨を眞の階級的統一へ躍進せしむる事が可能である。

加治時治郎

（一）政黨に基本金を有せざる以上必ず、其維持の爲め支配階級に合流するは當然の事と思ふ故に因り無產黨の除名にも遂に何物かゞ動くなる可し、之を矯正せんと欲せば忍んで脫黨して潔き倫理的無產者同盟の成立を促す可し老生は既に一昨年歐洲に旅行する時に脫黨して置いたので今度の合同大衆黨には籍を有せず、唯彼等勝手に老生の默認を強ひて居るが實は其成り行きを見て居るのみ

（二）若し黨員たらば眞紅の言ふ如く幹部の責任を徹底明かにす可き也。一月十八日

齊柿善一郎

（一）の如き場合は彼の屬する一切の政治的無產者的團體に於て、彼を除名し、又公職を有する者には辭職を強要すべきである。然し彼は恐らく彼の行動を理由づけ又、彼の得たであらう珍品を分配することによつて、彼の支持者を作ることであろう。然しこうした場合にこそ、のみ、我々プロレタリアのみの有つ強き力が發揮されるであろう、又されねばならぬ。彼を永遠の彼方に葬るまで。

（二）の場合も大體同様であるが可也機械的に考慮する必要があろう。第一證を握ることに努めねばならぬ。それさへ摑めば除り混亂もなく、分裂騷ぎも起さず彼を葬り得やう。要するに今後かやうな醜惡な事件が次から次へと起されるであろう。然し我々は頭だけのインテリゲンチヤの有たない又爲し得ない力と行動をその都度發揮するであろう。

野中誠之

無產政黨の代議士が非階級的行動をなした場合は、黨より除名すると共に代議士をやめさすべきである。黨員大衆の力によつて放逐すべきである。

井上良二

（一）無產政黨が資本家、地主の政府と合流する様な事は斷じてあり得ないと考へます。政府が如何に懷柔政策で合流を強要しても決して合流すべき理由とは成りません。非階級的條件の下に支配階級に黨を賣り付けることは今後余程注意せないとあると思ひます。

その場合黨員として如何に黨の階級性を守るべきかと云へば、先づ第一に幹部の非階級的行爲を階級的立場にて批判し彼等の妥協的言辭に迷わされぬ様にする事。

彼等は常に常識論にてさもその行爲が階級的であり勞働者の味方たる利益擁護に勉めた様に說き伏せるのであるから飽迄黨員は階級的立場を嚴守して彼等の本質を暴露しその非行に依つて黨より除名すること、今後絕對に彼等が再び立ちあがれないまで葬り去る事である。

次に一般黨員は本部黨の大幹部を無條件に崇拜してゐるので仲々彼等幹部の巧妙なる行爲と妥協的言辭をその儘に信じて仕舞ふ事が往々にしてあるから幹部の非階級的行爲のあつた場合は階級意識のある黨員はその支部、その地方に於いて幹部の反階級性を暴露して一擧に支部大會、それに代る機關

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

で決議して全國的に飛激して黨の階級性を守る事より外に途はない。注意することは一度非階級的行爲のあつた幹部は決して階級的立場に歸る者でない、如何に口や行爲でそれを證明してもそれは一時的である。

（二）「金」に依つて合同統一が出來て、その場合清黨運動が大衆組織を混亂せしめることが豫想されるのも、合同の母體である一黨の黨員がその黨の幹部を盲目的に信頼してゐるから、黨の合同が如何に幹部の取引及條件が醜惡なものであつても、幹部が表面的に甘くやれば黨員大衆は盲目的に幹部の言葉や行爲を承認する。合同後、その不正なる條件が暴露した場合は黨員同志——階級意識ある黨員は全黨員に得心の行くまで説明して、黨員と共に墮落幹部を葬る事に努力すれで良い。その時は余程甘くやらないと少數派運動となつて、幹部と黨員大衆が結束して少數の階級的立場にあるものを反對に葬り去る。又、双方の勢力が對等である場合は組織は分裂する所まで行く、その場合は一歩退却二歩前進の爲に決して分裂してはならぬ。分裂主義者の思ふ壷に這入らぬ樣に組織内で大衆の信頼を得る行動を勇敢にやることだ。平常に大衆の中にて黨の信頼を得る行爲に忠實でないと黨内の清黨運動に成功しない。墮落幹部崇拜の思想を黨大衆より忘れさす事も必要だ。以上、取急ぎ即答まで（一、四、）

永田繁澄

一、非階級的な幹部は徹底的に吾等の陣營より葬る事と同時に支部聯合會には聲明書檄をとばし結束を更に強固ならしむる事

二、合同せる大衆の大會を開催しダラ幹の除名は勿論支部聯合會はダラ幹の事の詳細を黨員に報告しダラ幹の切り崩しを極力防止す可きである

無名氏

一、組織的糾彈運動を捲おこし事實を指適してダラク幹部をして辭職引退を餘儀なくせしめる事。

二、黨員が無自覺で幹部に無條件で盲從してゐるから、清黨運動から一時的に合同を混亂させる危險はある。しかし、この清黨運動と無産階級の當面せる戰ひとを果敢に結びつける事によつて、即ち合同完成、闘爭力の集中とに結びつけた時清黨運動は成功する。

吉田源藏

一、個人的な濫動は嚴禁す可きであつて、黨内に於ける民主的討議に付し清黨運動を起し黨の階級性を擁護す可きである。即ち支部總會、聯合大會、黨大會、或は擴大中央委員會等の決議、決定の無効、不信任等により處分す可きである。

二、黨は階級の黨にして幹部の黨にあらず。從つて又幹部は黨の幹部にして、黨は幹部の黨ではないから黨は階級の利害を代表するものであり、幹部はそれの機關である。だから幹部と云ふ機關は階級の利害を代表する爲めの機關である。此の機關が階級の利害を代表し得ないときには、最早それは階級の利害を代表する黨の機關ではない。それを葬る爲めに組織が混亂する等の事は、その事が正當に合理的に行はれる限りあり得ないことだ。「それは如何にして行ふ可きか」それは（一）で答へたところである。

深谷進

一、斯かる黨幹部に對して黨員は勿論再三の警告をなし、その反省を促すべきである。しかもなほ階級を裏切り背黨行爲を繼續するやうな幹部に對してはその醜行爲を大衆の面前で暴露し、同時に黨から放逐すべきである。でなければ直に打ち倒せ！而して裏切幹部に對するそれ等極端なる處置の過程に於て黨員を緊張せしめ、その他黨内肅清の機會となすべきである

二、合同に伴ふ幹部の醜惡なる策動に對してはこれを徹底的に大衆の前に暴露することは前項と同樣の戰術が必要である。しかも暴露することによつて大衆の憎惡憤激をそれ等ダラ幹の上に集中せしめ、これを以て大衆組織を、より強固に導くための動機に轉向せしむべきである。而して大衆の憎惡と憤激は必然的に容易にダラ幹を葬り去ることが出來るであらう。

布施辰治

簡單に御答へします。

一、政黨は謂ふまでもない大衆の政黨であらねばならない筈のものであつて斷じて幹部の政黨ではない筈です。——大衆の政黨だとは云はれないにしても政黨員の政黨であつて幹部の政黨でないと云ふことは云ひ得るでせう。だから、質問のやうな幹部の勝手な政府合流をやるようなことがあつたら當然、その幹部を除名すべきでありませう。

二、の幹部合流條件が金錢取引であつた場合の如きは勿論それを追徵沒收すべきが當然の制裁でせう

寺島宗一郎

一、其の幹部の醜惡なる具體的事實を機會ある毎に一般大衆に訴へ無産階級の代表者の使命と無産政黨の任務を明かに方向を示し指導すべきである。

二、一を前提として母體である所屬團體の組合の總會に於て醜惡なる事實を暴露し一般大衆の輿論を起し無産階級の正道を明かにし彼の社會的生命を斷つべきである。

棚上虎助

一、どの道そんなことをする奴等は、萬一の場合を考慮して常に黨内に自己の立場をよかれ惡かれ無條件で辯護する乾分子方を養つているたらうから、そしてそんな野郎に限つて黨の機關の中にも有力な兄弟分や乾分が居るから、なか〱合理的な運動なんて出來るものでない。目的は手段を淨化する、×るんだ、どづくんだ、地方から除外して仕舞ふこと以外に適當な手段なし！しつかりやつて呉れ給へ。

二、議論したり協議したりするから組織が混亂したり分裂したりするのだ。進め社とも言はれるものが何を曖胡々々「問題」なんか提出しているんだ。行れ！行れ！何を！ツて問ふたけ野暮じやないか！分つてゐる癖に、進め社も此の頃隨分人が惡くなつたぜ。

大澤一六

一、矢張り黨員が大多數でやる外はないだらう

二、何でもかでも大つぴらに青天

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

白日の下にてらしてヤるより外はないたらう。ナマジイの策は無い方がいゝ。

鄭然圭

一、事情を明かにすること

第一問の場合においては、政黨幹部が議會で政府と合流し、その他非階級的條件の下に、支配階級に屈服した事情、第二問の場合にあつては、金によつて合同し、或は合同後の行動を條件とした事情を明かにすること。

この事情を明かにすることは、第一問の場合にあつては黨の階級性を擁護することとなり、第二問の場合にあつては、大衆組織を混亂せしめないこととなる

二、全黨員の意思よりなる黨精神を確立すること

第一問にあつては階級性に立脚せる黨精神を明かにし、黨精神によつて黨員を拘束し、第二問にあつては合同精神を明かにして、醜惡條件の實現を事實上不可能ならしめること。同時にこれは、黨の動搖と混亂を防ぐこととなる。

三、當該幹部の自決を迫ること

以上一と二によつて、黨及び合同大衆の動搖を防ぎ得た後で、孤立狀態にある幹部に對して自決を迫ること

四、直接行動を取ること

幹部の自決又は除名が、更に黨の動搖を來し、又は支配階級に有利であるか、醜惡條件を履行するの恐れがある時には、直接行動によつてこれを防ぐこと。

以上

根本宗光

御質問の趣旨は廷に重大である

これは只に今期議會に當面した問題ばかりでなく將來には必ず起り得る可能性が包藏されて居るから今から徹底的に眞劍に研究、覺悟さるべき重大問題であると思ふ。

一、無産黨議員が議會内で行動するには或制限を與へられてゐる筈である。即ち無産政黨の最高決議機關である所の中央委員會の決議無産黨議員團の議會對策行動に律せられて居る筈だ。然るに是れを破棄して勝手に政府との私的取引で黄金で身賣した場合。（コレはブルヂョア議員と違ひ單に節・操を賣つた位で承知はできぬ。又云はさぬ積りだ）昔なら正に一刀兩斷の値打ものである。われ等は除名は勿論、これ等に對して徹底的に社會的に葬むる制裁を加ふべきである。此の最適切の方法としては これは單に議員の罪であるばかりでなく所謂な變節、畜生議員を出した黨及黨幹部就中、中央委員會の責任であるから、中央委員は全部總辭職し、黨幹部の根本的改造並びに刷新を圖らなければならぬ

そしてかゝる議員を今後絶對に出さしめない方法としては、無産政黨より立候補する場合、「私事若し政府に誘拐された際には即時其の場に於て割腹致し候也」の誓約書血盟狀一札かゝしめる事。コノ位の覺悟と度胸の無い奴は出さぬ事、又出ぬ事だ。（ソコイラの墮落幹部如何でゴザる）

二、此の場合の罪も全く前項と同然であるから、中央委員は總辭職して新に根本的改造をする事は云ふ迄もない。このために「合同統一」が一時混亂させられると云ふがそんな事はない、かへつて黨に新鮮な空氣を吹き込んで黨大衆の直接意志が表現されるから「合同統一」は容易になるわけだ。よしんば一時混亂せしめられたからとて恐るゝに足らぬ。雨降つて地固まるの諺。遠慮なく中央委員に潑剌たる新人を送り込む事。

さて總辭職せざる時は如何にする？それは黨の組織が惡いのであるからそんな黨は今から改造する事。

われ〳〵は以上の事は單に一議員、少數幹部の責任ばかりだと考へてはいけない。大體そんな豆腐みたいな人間を出したのは全黨員であるから何んと云つても黨大衆及これを指導する自由指導者（官僚指導者に對する語として）青年前衛鬪士がしつかりする事。そして絶對にこんな事を再びしない様にすることだ。

杉山元治郎

一、充分に諫止すべきである。說いて猶聽かれねば、今日の法律上議員を止めさす譯には行かないが、併し吾々は輿論に訴へ而して再び議會に立つことの出來ない様に、政治的に葬ることは必要である。

二、墮落幹部を葬るのは、一つに一般黨員の自覺に待つより方法がありません。黨員並びに選擧民が政治的に自覺して居れば墮落せない様に牽制も出來るのである。

佐藤三郎

一、直に選出議員を除名すべし。無産階級運動より葬る事、

二、外に青年運動の力を借り、内に統制委員の活動を助成すること

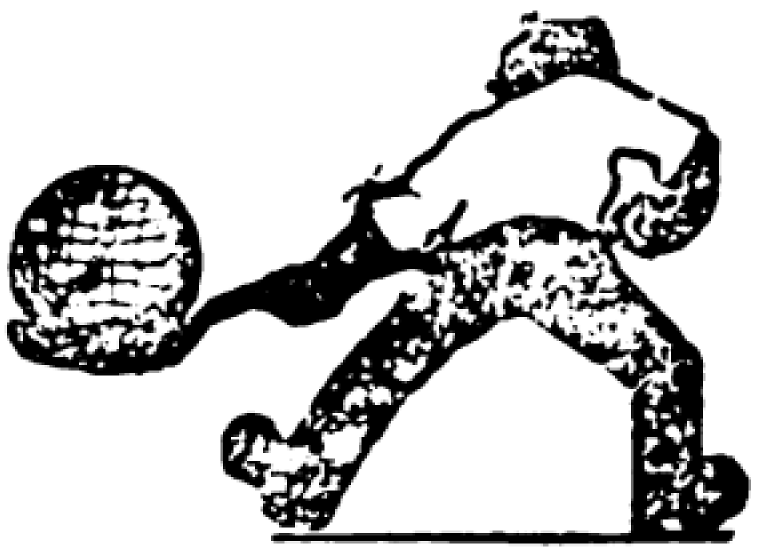
森貞次

締切りに後れてゐますが御回答致します。一の問題は論議の餘地はありません。二の場合においては合同そのものはよいのであるから、これを混亂せしめないで、反つてそれを強固ならしめる目標の下に組織的な運動が必要である。その具體的な方法の一二を擧げれば、黨の統制委員會の嚴正な調査を大衆的壓力をもつて遂行すべきである。一月二十日の全國勞農青年同盟の創立大會に、大會の名によつて、日本大衆黨幹部に對する詰問の件を明瞭にする爲めに、日本大衆黨統制委員長に警告を發するの動議が出たが、ごうした譯か成立しなかつた。青年がそんな事では先が心細い。青年にして階級運動に正しくなかつたら、年を取るに從つて正眞正銘のダラク幹部になつて了ふ危險性が充分にある。清算運動の成功を心から祈つてゐる一黨員より。

編輯者

最後に編輯者として簡潔に諸氏の御意見を要約する。大多數の意見は先づ的確な事實を掴む事、組織的な運動でなければならぬ事、合同統一の完成と、支配階級への鬪爭と結びつけての運動でなければならぬ事、そして、裏切者に除名又は辭職を強要すべき事、以上である様に思はれる。吾々も同感である。この方針に從つて戰ふ時吾等の戰ひは勝利である。全土の勞働者農民諸君の健鬪を祈る

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



清黨運動の世界的階級性

吉田源藏

一

我が進め社は、曾て討閥運動を起し、我が國社會主義運動上に於ける討閥運動の弊風を除去し、昨年總選擧當時にあつては討閥問題を起し、共產主義の名に隱れて我が無產階級運動を攪亂するところの、極左翼小兒病者の一團である[illegible]を討伐し、今又戰線の統一の名に藉口して、再び無產階級の政黨を支配階級に賣らんとしたる無產政黨内部に巣喰ふところの、腐敗墮落の醜幹部を屠り、我が無產階級政治運動を淨化せんとする「清黨運動同盟」を此處に結ぶ。

「總ての階級闘爭は政治闘爭である」にもかゝはらず無產階級の政治運動は、全世界の歷史が腐敗と墮落の累積を結んでいる。無產階級運動と云ふも、もと、その歷史的使命を擔ふところのプロレタリアートは、資本家制度の社會組織から必然に生み出される無產者にして、從つて、之が解放されんとする無產者運動も、現存せる資本制度の社會秩序の下に於て營されるものである限り多かれ少かれそれの制約を受くることは蓋し當然のことではある。しかも、その幾多の制約される條件の内、最も危險性を持つものが、無產者運動に於ける資金の問題である。就中無產階級政治運動に要する資金の問題こそ我國のプロレタリアー政治運動が殆んど除外例なしに危險の暗礁に乘り上げているのである。このことは、常に無產階級の解放を口にしながら、反動的役割を演ずる、アナキーズムの擡頭を助成することゝもなる一助ともなる。

二

無產階級運動の戰士であり闘士であると、自他共に許す連中の内には、未だその不明の故に我が社をして「問題の進め社」とか稱し、或は「階級陣營内の攪亂者」等くその罵詈雜言を以て迎へ居る者極めて少數ではあるがあるもの、如し。今回の「清黨運動同盟」に對しても、彼等は既に、「例の排擊病」「例の策謀病」が等々とあたかも一笑に附し居るが如きなるも、内心密かに自己の不正を蔽はんとする爲めの言辭に過ぎず。

しかしながら、我が社は我が社に課せられたる歷史的使命を眞に知る。見よ！我が社の闘爭は常に官憲と反動と腐敗幹部、墮落指導者共に依る怒號によつて喧々囂々とし、[illegible]、嘲笑、[illegible]、投獄と幾多の苦難と犧牲の中に呻きながらも、尚且つさゝやかなる一片の雜誌を發行する我が社が、常に、勞働者と農民と××からなる幾萬の同志に守られているのは、我が社が單なる「問題の進め社」或は「陣營内の攪亂者」にあらずして眞に階級闘爭途上に於ける生ける「問題の提出者」であり分裂主義者與、裏切者與、腐敗漢、墮落漢の集團の「攪亂者」であるからである。

今回我が社に依つて起された「清黨運動同盟」にしても、これを侮蔑するもの、之を恐れるもの、之に反對するもの、中立的態度を持するもの、皆總て墮落幹部、腐敗指導者の一派であり、若くはそれの手先きである。見よ！醜類を擁護する徒黨の一群を、裏切者の前科者であり、分裂主義の常習者であり、一人として札付きならざるものが見受けられると言ひ得やうか？

それは兎に角吾々は問題に歸らう。「總ての階級闘爭は政治闘爭である」それにも拘らず無產階級の政治運動は、世界的に無產階級運動の名を汚し、行ひを誤つている。しかも其の決定的の要因が金錢問題である。金錢問題は運動資金の問題である。

無產階級運動者にして金錢を得るものに二種あり、一は金錢を得る爲めに運動し、二は運動する爲めに金錢を得るもの之なり。則ち後者は眞に吾等の運動を前方に押し進めん爲めにのみ得るところの、所謂運動資金の調達であるが、前者は金錢の受授以外に何等の目的を有するものにあらず。しかしながら、特殊な運動を除いては、金錢を得る爲めの運動者も、其の多くが、運動の爲めに資金の調達を其の當初に於ては爲しつゝあつたものである。しかしながら、如何に無產階級運動の資金の調達と雖も、冒頭に於て言ひし如く、現在資本家制度の下に於ける制約を受ける限り資本主義社會の組織にあみこまれて行く。彼等幹部はそこで資本主義者に屈服し、從つて腐敗し墮落し、遂にはブルジョアジーの番頭となり手先きとなる。

では何故に斯くなるか？理由は必ずしも單一ではないが決定的なものは、一、二の幹部に黨の財政をして其の責任を負はしめるところにある。言葉を換て言へば、黨員大衆が黨の財政に付き無關心だからである。黨をして無產階級の眞に闘爭本隊とさせしめるか、只單なる私人との金錢の取引きの道具と化せしめるか？それは一つに黨員大衆が、黨の財政の確立に眞に參加するか否かによつて決定されるものである。

我が進め社の清黨運動は、單に墮落幹部の排擊運動ではない。實に世界的に汚辱されたる無產階級の政治運動を、眞實の階級闘爭たる政治闘爭たらしむるに、絶對唯一不可缺の運動である。

一九二九、一、二五

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

時評

利權政治に反抗して岐阜農民暴動す

工藤勝市

去る一月七日、突如として岐阜縣下に起りし大民衆運動は、之れを單なる一騷動事件として輕視すべきものではない、亦、既成政黨の如く、政略的手段として、取扱ふべき性質のものではない。たゞ過去に於ける吾等の生活があまりにも慘じめに陰鬱で、あまりにも屈辱的に、不公平であつただけ、それだけ强烈に又、吾等が人間としての向上、生活の改善等々の種々雜多な運動が、此腐れ切つた資本主義社會制度の壓迫を受けた反動として意識的乃至無意識的なるに係はらず必然的に蹶起したものである。長野縣の暴動事件然り。宮崎縣の大民衆運動然り。之皆限りなき、反動政府の政治的、經濟的、社會的迫害によつて以つて起れる、必然的結果である。卵外殻を破つて生れる新しき小鳥の——反動政治勢力支配の鐵鎖を切斷すべく投ぜられたる一爆彈の爆發に外ならない。

即ち、進んで遡源するならば、次の聲明書を見よう。

「そもそも今回の企圖は木曾、長良、揖斐三大川改修事業の進捗に伴ひ、名を支派川の改善にかり茲には本巢郡内千數百町步の排水疏通と稱し巧に策略が欺いて今日に至りたるものなるも事實は同郡南端に位する船木、繁田、本田、穗積村内の最低濕地三百五十餘丁步の水腐地を乾田せんとする一大陰謀事たる事を斷言するに躊躇せず、本問題については我等がつとに金澤知事の反省を求めてやまざりしところにてまことに遺憾に堪へず若し單に本巢郡内數ケ村三百餘町步の水腐を免れしめその村民を救濟せんとの至誠存するならば排水機の設置をもつてすらも優にその目的を達成すべきが疑はず何を苦しんで數百萬圓の巨費を投ずるの要あらんや況んやこの事業によつて、新川敷、新堤敷に潰ゆべき 頃の良田によつて生ずる耕作者の失業失職、新川新堤を渡渉上下するの不便さ損失將近やうやく完成をつけし改良田園の根本的破壞、平生不斷に要する排水機費用の增嵩等算し來れば其損害巨額なり到底その利得に比して同日の論にあらざるなり」

何故、斯くも切實なる大衆の要望があつたに係はらず、其の要求を拒否して、農民の生命たる良田の荒廢を强要し、巨額の負擔を强制し、生活安定の破壞を要求したのであるか？　剰へ、此正しき民衆の、生活擁護の動員に、生存權確立の闘爭に、自治自主の要望に對して、何故官憲に依つて、××を以つて、暴壓を敢へてしたのであるか？

今や、反動政治勢力の魔手は、如何なる寒村僻地に至るまでも、完全に、意識的に、組織的に其の支配網が張られて居る、そして、總ゆる新興政治勢力に對して極端なる彈壓を意識的に、組織的にほしいまゝにして居る。

而して、所謂自治體たる各府縣には、知事なる支店を設け、其搾取機構と、壓迫手段に遺憾なき迄に完全を期しつゝある。亦知事は多數の部下を法權、金權利權によつて統制し、其專橫を欲するがまゝに爲して居る。然り、彼には無產青年を正義愛國の美名の下に狩り出したる××を××するの特權を持つて居る、又、民衆の生活保證を任務とする警察力の指揮權を持つて居る、と共に亦、彼は中央よりの經濟的、政治的支援の下にブルジョア階級の極度に不安定な現地位擁護の——急激な沒落過程を辿りつゝある資本主義死守の重大使命をも持つて居る、が故にこそ、岐阜縣金澤知事は資本主義制度持續のために、反動政治勢力伸張のために、田中反動内閣のために、金權、法權、利權の奴隷となつて敢へて、七ヶ町村民衆の要望を拒否して、生存權を蹂躙すべく、大衆に犧牲を强要して迄、かの暴擧をなすに忠實であつたのである。

全勞農大衆諸君、特に無產青年大衆諸君、今や、吾等は此大民衆運動を通じて幾多の教訓を現實さして體驗し得たのである。

即ち、すべての政治的自由を獲得してこそ完全に××××を成就し得ると云ふ事それである、何故なれば既成政治勢力は、金權と利權と威嚇とに依つて大衆の政治的經濟的、不平不滿を欺瞞抑壓するの手段を持つて居る、又、自覺せる組織的政治勢力に對しては法權が依つて猛烈な彈壓を以つて自己防衛の戰術とする事を知つて居るからである。倘、支配階級は××の一前提たるべき大衆運動に對しては彼等が××××××××に於いて××と×××と××との標的さなすべく狩り集めた、無產青年××を、×××××××××××××××××を用意して居る。斯くの如く、支配搾取階級は、自己防衛のために、あらゆる、犧牲を吾々勞農大衆に强制しつゝあるのである。

然らば我々は此反動勢力を撲滅し、吾々の理想社會を建設するには如何にして戰ふべきか。先づ勞働者、農民の强固なる共同闘爭によつて政治的自由を闘ひ取れ！、無產青年は飽迄も其前衛隊として、果敢なる闘爭を常に展開せしめねばならぬ、それがためには一方宗派分裂主義者を排除し、他方右翼分裂主義と闘ひ、政黨に對しては常に批判的に監視の立場に立つて、清黨運動の先端となし、眞の階級的、戰闘的、唯一無產政黨の確立を期して、全勞農大衆の政治的經濟的・社會的自由の獲得のために努力せねばならぬ。

市町村縣會を吾等の手に奪ひ取

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

れ!、
帝國主義戰爭の危機と鬪へ!、
政治的自由を鬪ひ取れ!、
岐阜暴動事件犧牲者の釋放運動を開始せよ。

支那から手を引け

佐々木敬三

日本ブルヂョアーの生命の糧を供給するものは、滿州の資源です。石炭やその他日本の重工業に必要な缺點などを手近に自由に廉價に供給するのは滿州です。滿州の輸出入總額の八割以上は日本關係のものです。それで日本ブルヂョアジーは必死になつて、外に向つては陰謀、脅喝、懷柔、買收などあらゆる手段を弄し内に對しては、日清日露の戰役に、莫大な戰費を投じ、それ以後二十億に近い投資をしてゐるから、「我等の父や兄が血を以て購つた特殊な收益である。いかに滿州の自主的要求が熾烈にならうとも、之ばかりは鐵火を以てしても守らねばならぬ」と日本無産大衆の「愛國心」とやらいふ民族的な感情を巧妙に煽りたて、滿州を其の掌中から放すまいと足掻いて居ます。この樣な、日本ブルヂョアジーの努力は、支那の民族運動の形態で發達してきた民主主義的革命運動が社會主義的な色彩を帶びて來るに至り、一層狂暴化され南方國民政府の支那統一運動の積極的な妨害とまでなつたのであります。そして此の妨害は、經濟的ブルヂョアの陣營から見れば、誠に必要で賞讃すべき事であつたのですが、日支無産大衆に與へた損害は實に甚大なもので日本無産大衆は彪大な濟南出兵費並びに駐兵費の負擔、支那無産大衆は生命や生活の不安と、更に内亂終熄期の延長等、それ等の事が一々階級的な問題を提出してゐるのです。

日本無産大衆から搾り取つた××の變形は支那無産大衆の面前に××や××として猛威を振るふのです。こんな不生産的に使用されてゐる金は、日本ブルヂョアジーが支那市場に於ける列強爭覇戰に參加する爲め、そして勝利を博する爲めに絶對に必要なのです。しかもこうして帝國主義戰爭の危機は益々増大するのです。こうした目的にかうした方法で惜げなく黄金をバラ撒く位ですから、我等無産大衆の上に直接に落ちかゝつてくる日本ブルヂョアジーの重壓は産業の合理化、大量馘首、賃銀値下一般大衆の生活程度切下となつて我等無産大衆の生活と生命とを脅威し削減するのです。

進め戰鬪歌

(一)黄金によろほへる
資本の牙城は固く
壓制に惱みつゝ
吾等の鐵鎖はきれず

折返し

いざ進めく
農村に工場に
突撃の聲高く
鬪ひ今やせまる

(二)○○の雲切れて
黒闇夢は遠く
黎明の鐘のもと
ブルヂョア挽歌ぞ響く
(前節繰返し)

(三)立上れ同胞よ
正義は今ぞ燃ゆる
○○の日は近く
未來は吾等のものぞ
(同繰返し)

(四)振りかざせ赤旗を
よろこびの歌聲へ
民衆は野に山に
凱歌を今ぞあぐる
(同繰返し)

赤旗の譜

正月元旦、滿州では張學良が、國民政府の「青天白日旗」を、たしぬけに掲揚しました。これは形式上滿州も國民政府治下の地方である事を明白にしたものですが、この事は、去年の八月以來既に内定してゐた事に過ぎぬので、別段驚く程のことはありません。併し幾度も幾度も林權助などいふ老ぼれ外交家まで派遣して張學良を脅喝した外務大臣田中義一閣下には嘸かし御無念ならんとお察しする次第です。また一月十一日には、張作霖の智嚢と呼ばれた楊宇霆と、その一味の暗殺事件となり、折角買收して抱き込んだ彼を失つた日本ブルヂョアジーとその代理業者の面々は落膽し失望した事でせう。日本ブルヂョアジーの勢力が増大し、滿州及び支那本部に對する攻勢が激しくなればなる程、支那ブルヂョアジーと其の結托者たる新軍閥の反抗運動は民族的な形態の下に擴大し深刻化してゆくでせう。漢口に於て日本租界が排日運動の結果、全然孤立して雪中に食糧缺乏を告げる樣になつたのは一月七日以後の事ですが、これなどは昨年秋から各地に行はれてゐる反日運動の一例に過ぎません。併し、この運動の指導は國民黨の中央黨部が行つてゐます。こゝには左翼分子のヘゲモニーが確立されてありますから、やがて大衆的反日運動は、帝國主義的資本主義の打倒と共に、支那ブルヂョアジーの奸計と欺瞞とをも併せて清算せずには推かないのです。武漢の共産黨政府が倒れたのは客觀的な條件が不備であつたからですが、やがて此の大衆的反日運動はそれ等の條件を構成する一要素となるでせう。

日本ブルヂョアジーの日支無産大衆への必死的な攻勢は、日本の無産階級運動をして尚一入困難にさせるでせう。この事は、最近の田中反動内閣の××ぶりを見れば忽ち了解の行く所です。しかも此の支配階級の壓迫は、やがて全無産階級の階級的自覺の下に、階級的大衆黨の單一的結成を招來する契機となるでせう。日本大衆黨の結黨もその一段階と考へてこそ意義深いものとなるのです。そして階級的に覺醒しつゝある支那無産階級が、自國の資本主義並びに日本其他列強の帝國主義的資本主義と戰ふために、一團となつて世界史××の舞臺に登場するのです。

我等日本の無産大衆は上述の理由から、當面の支那に關する政治的要求として、支那から手をひけ。と高唱せねばなりません。我等は日本ブルヂョアジーの必死的攻勢に抗爭して日支無産大衆の生命と生活を守り、その兩者の歴史的使命の遂行に勇敢でなければなりません。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

寸評一二三

清水寛一

一、東京市會選擧迫！

利權政治に禍されて最後の一片迄も腐敗した東京市會は、十二月廿一日解散され、新しき市會を構成すべき選擧が三月日に迫つてゐる。吾等はこの選擧を最も熾烈に戰はなければならぬ。しかし、各無產黨の今迄發表した候補者はいづれも小市民階の人が多く、戰鬪的勞働者のないのを甚だ遺憾とするものである。云ふまでも無く資本主義に對抗する基本的な階級はプロレタリアートである。プロレタリアートが先頭に立つて、戰つてこそ階級鬪爭の正道がある。この意味において、工場勞働者を市會において戰はしむるべく努力しなければならぬのだ。

東京市會に戰鬪的勞働者を送り込め！

二、日本大衆黨黨名是非

日本大衆黨結成の日、黨名に勞農大衆黨と日本大衆黨との二つの案があつたが、日本大衆黨が大多數で決定された。日本大衆黨は反動的に見える黨名であつて、勞農大衆黨が階級的黨名であつた。然るにこれが否決されたのは、舊日勞黨、舊日農黨等の偏狹な愛黨意識からであつたらうが、吾々は最初から勞農大衆黨が通過するものと思つてゐた。元來、日本大衆黨にはそこに、即ちどの階級に指導權があるかと云ふ事が示されてゐない。反之、勞農大衆黨には勞働者農民を先頭にすると云ふ正しい階級理論が表現されてゐる。

三、勞農大衆黨生る

その七黨合同黨が否決した勞農大衆黨を黨名にして生れ出でたものは、京都における水谷君一派であつた。私達は舊新黨準備會の結黨大會を期して必ずや舊新黨準備會内の二潮流が遂に相反撥して分裂する事を知つてゐた。即ち、玉碎主義對合法政黨結黨主義との分裂であつた。果して、舊新黨準備會が解散されるや、岩手を初め各地に動搖が捲きおこつた。勞農大衆黨もその表現の一である。吾々は、今日階級鬪爭を愈々強力に展開するためには、大衆を組織に動員する合法政黨の必要を痛感してゐるものであつて舊新黨準備會の方針を蹴たらずして脫退した水谷君一派の態度をひそかに喜ぶものである。

しかし、水谷君の勞農大衆黨もそれが單に一地方政黨のみに止まつてゐてはならぬ。單一大衆政黨樹立の爲めの一段階でなければならない。

日本大衆黨階級性擁護の爲め讀め！

清黨

郵券二錢要本社取次

四、無題

說敎強盜のぬれ衣を着せられた男の家の前には、群集が憤怒に燃える眼で、口々に罵倒してゐましたが、それが警視廳の失敗であり無實の罪であると云ふ事が分ると今迄その一家を呪つてゐた群集の鋒は何時しか、警視廳の横暴を罵り初めたと先日の某新聞は報じてゐました。××ふた警察には人權蹂躙は附屬物である。吾々無產階級は、階級運動の途上において、××ふた警察の爲めに、生存權獲得の鬪爭がどれだけ彈壓された事であらうか。

この疑はれた男は、失業者であつた。失業者なるが故に疑はれたのであつた。

時事日誌

十二月十九日（木）
無產大衆黨第一回大會、日勞黨との合同に決す。日本勞農黨第三回大會、第一日九州長崎支部聯合會代議員の本部員に對する暴行事件より解散を命ぜらる

十二月二十日（金）
日本勞農黨大會續行、全黨一致合同に決す、午後八時半より、協調會館に於いて、日本勞農黨、無產大衆黨、日本農民黨、九州民憲黨、中部民衆黨、信州大衆黨、島根自由民衆黨の七黨合同大會成立し、日本大衆黨の結黨成る

十二月二十一日（土）
日本大衆黨中央常任執行委員會は、（一）主體完成のため合同前合同を勸誘せし黨以外は合同を打切ること（二）新黨準備會とは其合法性獲得の如何に拘らず合同せず。又合同の申込を受けざる旨發表す。

東京市會は疑獄に關聯し、多數議員の出席不能の爲其機能を失ひたりと云ふ理由を以つて解散を命ぜらる

西獨乙鐵鋼大爭議は内相セヴェリングの調訂案により解決す。最低賃銀六ペンツヒ時額二週の勞働時間を五十七時間に減ず向ふ一ケ年有効

十二月二十二日（月）
新黨準備會の結黨大會は本所公會堂に於いて今日より三日間に亘り開催

十二月二十四日（火）
新黨準備會結黨大會第三日は開會に先だつて解散を命ぜらる

十二月二十五日（水）
舊新黨準備會は政治的自由獲得勞農同盟を組織す

十二月二十七日（金）
スペイン支那關稅自主條約調印
斯くて關稅自主條約を締結せざるは日本のみとなる

十二月二十九日（日）
東三省に青天白日旗揭揚さる。

一月一日（水）
全インド國民會議は「自治領の資格を許すべし」の決議を可決す。承認せぬ時は非協同主義を實行す。支那國民政府の軍制改革の編遣會議南京に開催

一月五日（土）
南京反日會組織的に日貨封鎖斷行

一月七日（月）
漢口の日本租界は反日運動のため孤立す

一月八日（火）
新黨準備會水谷代議士聲明書を發表して分裂す。

一月九日（水）
岐阜縣に大衆運動起る

一月十一日（金）
揚宇霆一派親日傾向ありて支那統一を妨害するものなる故を以つて銃殺さる

一月十二日（土）
漢口に於ける排日運動は益々深刻となり、日本租界は交通遮斷さる

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

全土戰報

戰報一二

その一

佐賀造船所（伏木港）爭議を應援の爲トウシヤ版刷りの宣傳文書を發行したるの故を以つて出版法違反として金澤市の清水一二氏は罰金二十圓の判決を受け同爭議を應援せる高岡市の萩原貞一氏は無罪の判決と云ふよりも檢事局では物にならなかつたとの報告に接した。尙同氏は拾月一日午後八時二十分女兒を分娩母子ともに健在と鬪士の繁榮また目出度い。

その二

高岡市にあつた勞働農民新聞支局及無產青年新聞支局は旗を捲いて伏木町に移轉した。

その三

日本民衆新聞礪波支局は讀者倍加運動に奔走中、成績は良好とある。

その四

東礪波郡山野村農事振興會（小作團體）對同村大地主政友會系の菊野久太郎以下三十數名の地主との補償米と年貢等級の爭ひは地主側の強硬なる彈壓の爲小作人側は結束益々固く更に挑戰的なる態度に出で左の聲明を發するに至つた。

聲明書

一、昭和三年度の年貢米は補償米制度となすこと

二、補償米は一俵に對して甲米（四升）乙米（三升）丙米（二升）格外上米（一升）とすること

三、小作米の納入は格外上米を以て標準とすること

四、前項の要求に應ぜざる地主に對しては無檢査米を納入する事附記 尙明年の五月三十日迄未解決の向きは時價代金を以て保管す以上內規に依り支配す

右決議す

役員 高田懲平 外二十八名

その五

昨年中に發生した富山縣の小作爭議は當局の發表によると

△爭議件數十九件

△參加人員百六十三人（內地主三十七人小作人百二十六人）

△關係地面積田五十五町二反步宅地八十坪

△原因別件數 小作地引上十五件 小作料滯納一件 小作料高率一件 番代變更一件 小作組合脫退一件

△要求事項別件數 小作契約繼續八件 小作地明渡五件 永小作權確認二件 小作料完納並土地明渡一件 小作料永久減額一件 番代復舊一件 小作組合規約違金納入一件

△參加人員數別件數 一人對一人のもの十件 一人對數人のもの四件 數人對數人のもの三件 數十人參加の者のもの一件

△關係地面積別件數 五反歩未滿のもの一件 五反歩より一町歩未滿までのもの三件 八町數反歩のもの一件 三十數町歩のもの一件 土地に直接關係なきもの一件

△解決件數十六件（內調停法によるもの十件 有志調停によるもの四件 勸解によるもの一件 小作官の調停によるもの一件）

△未解決件數三件

富山縣に於ける昨年の小作爭議槪況は前記の如くである。がこれを要記すれば左の如くである。

一、原因の小作關係にあるもの甚た多きこと

一、總件數多からざること

一、各爭議の規模範圍槪して狹少なること

一、解決槪ね容易にして深刻化せるもの殆んどなきこと

一、地主組合または小作組合にして爭議に直接關係せるもの少なき事

以上は各種事情によるものなるべきも就中小作料の低率なること小作組合の運動比較的穩かなること等はその主なる原因で將來小作組合の增設に伴ひ爭議も漸次增加の見込の由

因に地方小作官は高等官五等五級俸二千四百圓從六位岡本靜人である。

その六

南野尻村に於ては香川御大典村長も自治俱樂部の反對を始め他方面の抗議の爲大命を誣つて遂にその職を辭したが理由としては産業組合理事長と村長とを兼任するは要務繁激である。免まれ家庭の如きその性格は後任村長に職を委したる後も腹心の乾分を助役として選任したる由。

その七

日本大衆黨に參加した日農系の連中一月七日富山市の本部にて會合を開く

滋賀縣下の無產青年諸君に告ぐ

（礪波支局）

吾が滋賀縣の無產運動は昭和三年度も地主資本家の横暴の內に忍耐空しく躙られて仕舞つた。愈々追はれ追はれて昭和四年は明けた。新年を意義深く迎へて俺達青年は第一歩を踏出さなければ成らない。

現實の無產運動を見るに否社會運動勃興以來今日迄の運動を見るに第一線を踏出す者は全て肉躍り血燃るが如き熱情ある青年だと言つても敢て過言ではない。

其れだけ俺達青年には意氣あり進步あり亦歷史的使命が背負され與へられて居るのだ。であるから俺達青年は人類の爲正義の爲には如何なる

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め

迫害にも屈せず猛進せなければ成らないのである、

現資本主義社會は政治的に經濟的に行詰り愈々俺達青年の使命は重大と成つた。現狀は如何だ？喋々する迄もなく見よ？矛盾の社會だ？搾取社會だ？悲慘の社會だ？呪咀社會だ？日々に年々に殺人は増し強盗は増し自殺は増す悲慘暗黒の社會だ？斯くの如き呪ふ可き暗黒社會を變革遂展せしむる者は誰だ？そは一に無產青年でなくて誰あらふぞ？

縣下の青年諸君よ？斯かる暗黒社會には日一日と雖屈忍は禁物であるのだ。

幸哉。是に俺達青年の常に願望せし純眞の無產青年同盟が先輩諸兄の奮闘に依つて愈々結成され第一步を踏出した。

青年諸兄よ？俺達進め愛讀信者たる以上否無產者たる以上日本無產青年同盟の出現を否む事は絶對に出來ないであらふ。

日本無產青年同盟は進め第六年拾二月の上杉氏及同誌拾二頁の日本無產青年同盟の旗の下にの論の如く實に青年同盟の統一あつて始めて政黨の眞の合同實現を信ずる。

俺達無產大衆は彼等ペンで喰ふ學者の如く理論遊戲に非ず、又は賣名野心を事とする偉人英雄に非ず、眞の社會苦經濟苦を實擔する勞働者であるから無產階級解放の一分時も早からん爲に唯眞の戰線統一を願望して居るものである、

併し自ら政黨合同論も愈々實現の步を進め嬉しく想ふ。たが然し、合同が實現したる處で偉人英雄の合同たから危險なもので何時破裂の浮目を見ないとも限らない、

たから俺達青年は樂觀は絶對禁物である、で政黨の合同は合同として先づ未來を作る無產青年の同盟を統一堅固ならしめると共に睡眠狀態の吾が滋賀縣の覺醒に奮起せなければ成らない。其れこそ反動陣に住む俺達無產青年の任務でなくてはならない。

縣下の無產青年諸兄よ？

先づ滋賀縣の階級闘爭の前衞として日本無產青年同盟滋賀支部を作れ？

然して全國的戰線統一に進め？

滋賀支局 松田大寶

待遇劣惡に對し女工の叫び

愛媛縣大洲町井關製糸工場では年末に際して全女工に向ひ本年は格別を以て各自にエプロンをやると云つて正月が來ても出さない、工場主はエプロン一枚を以つて女工を誤魔化さうとしてゐるのか、又此の寒さに寄宿舍に火一つ出さない。女工は寒さにふるへてゐる。そして寒さの爲めに皆は自由がきけず明日の仕事も手につかないので女工連が申し合せ炭屋から炭三俵買入れたら、横暴なる工場主は會社からやると云ふ口實を以て、女工達が苦痛を忍んで働いた金で買ふた炭を取上げたのた。女工達は相變らず寒さにふるへてゐるのに、やると云つた炭も一向出さない、こうなると幾等おとなしい女工達も默つてゐるわけには行かぬとて全女工が待遇劣惡に對する生活の途炭に苦しみ、不景氣寒さにあへいで吾等女工に滿足せしむるものでは斷じてない。「全女工の固き結束の力」のみがよく會社の搾取、横暴なる工場主と戰ひ、吾々の生活を守るものであるを痛感するものであると協議の上代表者を選んで工場主に待遇改善の要求を出し、現に女工自身等の極力運動してゐる。

吾等は現時一切の工場組織を改善する事に依つてのみ之を達す。

全女工は固き團結へ？

（愛媛縣支局）

反動宣傳に乗るな！

ブルジョア政府が普選と共に如何にも嚴正なる裁判の如く外觀を見せかけてゐる陪審法の本質を檢討すれは陪審員構成の有資格者からは全無產階級、婦人青年の全部は排除されてゐるではないか。かゝるブルジョア陪審法が何故公平であり明るき日本を造るものであらう。

それは民衆の裁判參與と言ふ美衣を被らせた階級裁判に外ならないのである。然るにこの階級裁判を如何にも最もらしく法律の社會化民衆化せるものであるかの如く宣傳しつゝあつたが今度本縣下の全警察署では總動員をもつて法の女神（アンチモニー製の目隱しをした一尺内外の女神像で右手に衡器を揭げてその法律の絶對神聖さと公平を現したものであるさうた。巣鴨刑務所製作、（定價二圓三十錢）を至る所に押し賣りをしてゐる。

されどブルジョアの作れる法によつて監獄の冷壁に泣する寃罪者の無產階級の如何に多きかを見た時こんな押し賣は絶對に不買同盟を起して排擊するのた。

階級裁判をごま化し反動的性質を內包せるブルジョアの法は全部破壞せよ！

そして醜態の廢墟の上に輝かしい徹底せる眞實の吾等のための法を建設するのた。

群馬縣 妙美一夫

ニヒリズムの復活[illegible]のために

[illegible]

[illegible]××の××を敢行せられ[illegible]よるに臨[illegible]

なきか[illegible]の[illegible]な[illegible]きか[illegible]する[illegible]の民衆の[illegible]を忍はん[illegible]るに如かずこれを[illegible]へ。

昭和四[illegible]十[illegible]

[illegible]

前紙を進め誌上に登載して下さい社會大衆黨の爲めに道義の爲めに執筆者は誰でも宜し事件の設明責任は僕です修正訂正はよろしく。私は新進者です貴誌の爲めに應援の後援は致しますが唯今は苦悶惱中ず貴誌の血や納行者におくるを讀んで身につまされ泣きましたドウゾ〳〵私と同境地に措かれた人々の慰めの爲めに登載を願ひます

柴田己之助

進め社本部御中

生野鑛山鑛夫に與ふ

一路鑛夫組合の設立へ

日本一の財閥、日本一の吸血鬼、岩崎一族の所有せる三菱生野鑛山には、何等有力な組織がない。常に官憲を金力が買收しては惡水を市川に流出して下流地域の百姓を困らせ、長時間、然も食ふに足らざる薄給を坑夫達に與へて地下幾千尺で酷使し、合宿共の他鑛夫宿舍は豚小屋以下の惡惡な状態にあり。のみならず各宿舍は鑛夫搾取を一層完全ならしめる爲に設けられた勞務係の殘酷なる監視に封ぜられ全く獄屋に等しい生活を餘儀なくせしめられてゐる。長時間の勞働後、綿の如く疲勞した體を豚小屋的宿舍に運ぶと休息する間もなく、社員の命令によつて修養團或は報徳會や反動團體の講習に出席せねばならない。精神修養、或は××××××の美名に隱れて、彼等に服從盲從思想を詰込み、もくさ坊主、或は三文牧師をして運命の不可否を説かせ、天國とか極樂とかの夢言を弄し彼等を偽瞞し、階級的自覺を踏み潰し、搾取を一層容易に行はんとして日夜余念のない有樣である。若し斯る行爲を非難するものあらんか、全く課一頁で追ひ出される始末である。

會社側は勞資協調の美名の下に共榮會なる團體を組織し、職工鑛夫より代議員を選出せしめて事を議し、實に職工の名において支配してゐる譯である。此の代議員なる者は永年鑛山に勤續し會社思ひのゴマスリばかりである事は言を俟たない。

全千三百名の從業員諸君よ。覺醒せよ！我等は斯る會社側の御用を務める代議員會なる者を否認し、共榮會を脱退して、新に鑛夫組合を設立して勞働條件の改善に務めねばならない。親愛なる同志鑛夫諸君よ。一時も早く自らの解放の爲に如何なる會社側の迫害、官憲の彈壓に抗しても組合設立を約する血盟を立てやう。修養團報德會等に出席するより我等の勞働問題研究の會合に出席せよ。時間があれば、一部十錢の「進め」を讀め。さすれば自ら階級意識に目覺め一路鬪爭への要求を痛感するであらう。勞農階級の解放には全勞農階級の奮起如何に關してゐるのだ。あらゆる障害を突破して搾取なき無階級の社會構成へ邁進しやう。

親愛なる生野鑛山全從業員諸君。目前の小利に捉はれて大事を誤る勿れ。進め進め一路鑛夫組合の設立へ全勞農階級の解放へ（一鑛夫）

編輯部御中

僕は生野鑛山に働いてゐる一鑛夫です、無學の爲に頭分不味い然も重ねした文章になりましたけれ共資本家或は地主を呪咀する僕の熱情は恐らく誰にも劣るまいと思ひます。

將來は必ず解放運動のために身命をさゝげる積りでゐます。

坑面の問題は鑛山の鑛夫に一尖たりとも階級意識を注入したい事であります。

進め讀者會を發展せしめよ

十二月十二日午後八時より 我々支局

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め

に於て進め讀者會員中の研究心に富める者を集めて唯物辯證法の研究會を開く。集まる者二十餘名、進め大阪事務所よりは、吉田源藏、初子女史末永、諸氏、それに高知の前田、關西事務局の西尾兩氏を加へ盛會裡に散會。

先づ辯證法の概說を吉田氏講話、各員より質問盛に出で、吉田末永兩氏交々詳細なる說明あり、定刻十時までの筈が十二時を過ぎて漸く散會我等一同は兩氏のこの熱心を厚く感謝するものである。

我等は日常鬪爭を通じて戰ふと共に、來るべき鬪爭に備へんが爲には必ず理論的の頭腦を必要とする。然り、來るべき階級戰士は實際と理論の二つながらを兼ね備ふべきである。我等が研究會を創めたのは所謂それだ。來れ兄弟姉妹よ、進めの旗下に集まれ、而して讀者會を創れ、それを研究會にまで引延ばせ。

（大阪浪速支局重松生）

關西進め社總檢擧さる

昭和四年一月七日夜大阪進め社に於て、全國勞農青年同盟關西準備會主催にて、新年會が催され、集まるもの日本大衆黨系即ち舊日本勞農黨系無産大衆黨、舊日本農民黨及び社會民衆黨、關西民衆黨、立憲勞働黨此の他舊勞農系、日本勞働總同盟、日本勞働組合同盟、木材勞働組合、金屬勞働組合、一般勞働者組合等各政黨、各組合の若き鬪士の顔合せを行つた。

此の會合は主催者から葉書を以て各方面へ發送招待した如く文字通り新年會であつたのであるけれども此の新年會の主催者である「全國勞農青年同盟關西準備會」なるものは、我が國現下のような、無産階級戰線の各政黨、各組合の支配慾的繩張り爭ひに浮き身をやつしてゐる官僚幹部、ダラ幹、ドロ幹、反動幹部共を蹴飛ばして、大衆の要望を忠實に此の儘取り上げ、それを鬪爭を通じて訓練、統合、組織し、以て戰線の、統一を完成せしめ、無産階級が解放されんが爲めの鬪爭に、有力なる武器を與へんとするところの、關西に於ける戰鬪的無産青年鬪士等の集團である。

自來吾が勞農戰線は、何れに、各々の間に於て、多かれ少かれ幹部と稱する此の團體内の少數特權階級の私的專横の爲めに、對立的な情勢の下に置かれて來たが、「全國勞農青年同盟關西準備會」のみは眞に階級的立場に立つところの戰鬪的無産青年のみの集團なるが故に、苟くも團體對立的な、反階級的、裏切的、反動的な意識や行動等の弊風は更になく、大衆の現下の要望たる戰線統一の爲めに、眞の鬪爭するところの、我が國唯一の階級的鬪爭團體である

そこで、それ故に、支配階級は鬪爭的青年鬪士の集ひである限りそれが例へ、親睦會であらうが、新年會であらうと、よしそれ結婚式や弔ひの會合でも何條以て許すべきであらうか。彼等は遂に其の毒手を伸ばして、此の「全國青年同盟關西準備會」主催の新年會に參集した三十餘名の若き鬪士を、「秘密集會」の名の下に總檢擧したのである。そして彼等は發表して曰く「目下取調べ中」とある。

全國の勞農無産青年よ！若き階級戰士を彼等の毒手から奪ひ返せ！集會の自由を鬪ひ取れ！凡ての被壓迫青年に政治の自由を與へよ！

（大阪前田晴生）

勞動者よ農民よ戰へ

吾々は貧乏人の家に生れて來たお陰で小學校を終るとすぐ工場へ追ひやられた。都會へ小僧奉公にたたき出された。吾々に何事かを敎へて呉れる點では工場も一種の學校だ。主人も一種の敎師だ。然し吾々が工場や奉公先で學んだ事は恐らくブルジヨアの息子が中學校や大學で敎はつて居る事とは違つて居る。工場では長い時間安い賃銀で働かされる世の中には文化の風が吹いて居る人間の生活を愉快にして安樂にし生甲斐あるものとする種々の方法や機關は備はつて居る。然し我々には利用する閑が無い閑があつたとしても金がない勞働者も人間だ小僧も人間だ人間には生き度いと云ふ強い要求がある生て居る以上はより長く生き度いと云ふ強い要求がある。少しでもより長く生き度いのは誰しもだがところが吾々勞働者が少しでもより良く生きようとするには少しでも人間らしく生きようとすれば直ぐ傭主の利害と衝突する。吾々が人間らしい生活をするには賃銀の增加を必要とする。然し賃金を增加すれば其れだけ資本家の利益が減る。時間の短縮が必要だ。然し時間を短縮すれば大資本家傭主の利益が減る。其他總ての勞働條件を良くする必要がある。然し其の中の一つでも傭主資本家の利益を減らさないでは實行の出來るものでない。して見れば吾々がより良く生き人間らしく生き度いと云ふ要求の前に、傭主資本家の利害と云ふ奴が立ち塞がつて居る。吾々勞働者の利害とは相反して居る。工場は資本と勞働との生死の戰ひの場所である。吾々は生きねばならぬ。其爲には戰はねばならぬ。目覺めよ兄弟よ、同志よ奮ひ足て戰へ全無産階級よ團結せよ。そして資本の牙城を葬むれ

榎本榮道

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日本大衆黨の結成と左翼闘爭の飛躍的展開

伊倉繁郎

一

日本大衆黨の結成、即ち七無産政黨は如何にしてなされたか乃至何故なされなければならなかつたか。

我々は七黨合同、政治戰線統一萬才！の歡聲の中にも正しき認識を忘ることなく、ありの儘なる現實を批判し階級的展望の下に、次の鬪爭に參加前進しなければならない。

二

日本支配階級は今や起りつつある内外の諸矛盾から、遂に其の最後の手段として露骨なる反動政策によるの止むなきに至つた。即ち外に向つては支那國民政府への恥知らずの武力干渉となり、内に至つては鬪爭的勞農團體への××なる××と、產業合理化の名に於いて行はれる勞働階級への飽なき二重搾取が之である。

三

かゝる反動政治下にある日本無産階級の行く道は實に危險多き荊の道であつた。

反動支配の黒き魔の手が繰る無産階級勢力の分割支配は美事に其の効を納めた。

右翼ブロカー共は或は共産主義反對の旗か或は農民は農民黨へのスローガンを掲いで白晝大衆の前で其の餘命幾い旗を毛の生えた足で狂ひ踊つた。

又支配階級の意地惡い挑戰に乘じて「統一の前の分離論」を口實にまで合理づいて無産大衆の階級的要求をすげなく斷つた輝かしき戰鬪的裏切者を生んだ。

更に中間派と名附づけられるものまでも形成されねばならなかつた。

蓋し之に階級鬪爭の經驗淺き日本無産階級にとつてあり得べきことではあつた。

四

彈壓は愈々強く、無産大衆の貧窮化は極度に高まり、反動の嵐は強い。

斯る情勢は必然的に勞農一般無産大衆の反抗勢力を煽らずにはおかない。支配階級の攻勢の前に强力なる鬪爭を求むる大衆の左翼進出は竟に戰線統一の聲となつて現れた。

我々は戰線統一、合同の叫を階級對立のある全土の各所にきいたのである。無産政黨を合同せよ！勞農組合を統一せよ！そして我々の强い大きな陣容をつくつて鬪爭をせよ！鬪爭へ！鬪爭へ！鬪爭を通じて勝利へ！

此の大衆の聲を恐れたのは一體誰であつたか。此の大衆の要求を嫌つて防止し拒否したのは誰だつたか。それは地主資本家と、左右分裂主義者以外の何者でもなかつた。

たが此の階級鬪爭史の頁に小さな喜劇役者をつとむる障碍物も大衆の階級的大波濤によつて押し潰されねばならなかつた。

斯くて進出したる大衆の力は一部分の勝利を確保し得たのである。

即ち七黨合同——日本大衆黨結成の基本的な所以のものは此處に存在するのである。

五

七黨合同——日本大衆黨の結成に當つて、常に拔目なき支配階級の影暗き策謀に乘つた、ボッス政治家達の取引がなかつたか。たが前述の如き大衆の階級的進出の前には之等のボンス幹部の取引も、此の階級的要望たる處の戰線統一、合同の名に於いてなされねば何事も出來なくなつたことを裏づけるものである。今や傳存の幹部は大衆によつて動かさるるの時代とはなつた。

大衆の左翼的進出——それは各黨、組合内に於ける左翼分子の增大と、活潑なる鬪爭を意味するに外ならぬ。随つて此の度の合同運動に於ける之等左翼分子の實に獻身的な忍苦的な活動を充分に評價しなければならない。七黨合同、日本大衆黨の結成は實に之等左翼分子の勝利であつたのである。

かくて我々は日本大衆黨の結成に於いて新時代的な階級的意義を見出だすものである。

六

日本大衆黨の結黨によつて、左翼分子の勝利たるものは、單に合同それのみが勝利を勝利として固定化するものではない。

合同によつて克ち得たものは大衆黨内に於ける左翼勢力の急激な、飛躍的な增大は勿論、外に向けては即ち社會民衆黨、及び勞働農民黨大衆への働きかけは、政黨の合同と共にかかる階級的分子の增大と共の撓みなき活動とによつて容易になつた譯である。

七

かくて私は此の一小論文の結尾としなければならない即ち日本大衆黨内に於ける左翼分子は當面如何にして其の左翼鬪爭を展開すべきか。

一、大衆黨内に於ける各階級鬪爭的分子は急速に結合すべきこと
一、其の結合體には他黨の階級的分子をも包含すべき事
一、日本大衆黨絶對支持、分裂絶對反對のスローガンで大衆黨一部幹部の策動を防止しなければならない
一、日常鬪爭を最も敏速に活潑に行ひ大衆の絶對支持を得なければならない
一、右翼幹部排撃をやつてはならない。そして飽くまで階級的・大衆の鬪爭的進出によつて右翼幹部を附隨せしめなければならない
一、全勞農政黨の合同を執拗に大膽に主張しなければならない
一、各地方に於ける支部、支部聯の急速なる合同に努力しなければならない

等が當面の行動たらねばならない。此の鬪爭を通じて即ち左翼運動の飛躍的展開を期さなければならない。

七黨合同・戰鬪的合同萬歲！田中反動内閣を倒せ！勞農政黨の合同へ！治安維持法を撤廢せよ！帝國主義ブルヂョアーを倒せ！（全文）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

搾取行刑政策と自由勞働者の失業關係（七）

加藤利藏

刑務作業の社會的反映

一

前文中において「刑余者の社會生活上における位置」並びに「刑余者の社會的經路」の二項目の下に刑務作業の社會的反映の一端を述べたつもりであるが、これは主として、現在の産業部門の下において最も激甚なる失業率に惱む自由勞働市場における需給狀勢の中から必然に産み出されたる、最も深刻なる生活難に原因をおく、刑余の自由勞働者が「累犯受刑」の身世を辿るに至る社會的原因の觀點を、搾取に終始する現行刑政策の中心となつてゐる「刑務作業制度」の中に認知せるものであることの一端を論證したまでゝある。

「付記」一概に犯罪の原因を成す生活難といふも失業若くは求職不能に由る收入の絶無からくるものと、生計に不充分なる──無論最低限度の水準において──收入の寡少からくるものとの二面ある大體において──然して前者の場合は獨身者がその大部分を占めて居り、後者にあつては世帶持がその大部分である。更にこれを數の上からの比較を見ると後者は前者に比して非常に寡少であり、職業上から見ると後者の中には自由勞働者外の者が大部分含まれてゐるが、前者の場合はそれとは反對に自由勞働者以外の者の混入率は割合に寡少である。つまり犯罪の原因を生活難におく自由勞働者の全數に近い範圍に含まれる人々が獨身者であることを示すものである。更にいま少し突き入つた觀察をすると、現在の社會經濟組織の不合理から生起する經濟的壓迫が自由勞働者の生活をして配偶者との共棲をすら不可能たらしめる程の貧窮のドン底に逼息せしめつゝことの現狀を物語る證左の一端であることが知られる。

然しながら、刑務作業の社會的反映を、いま一面から眺める必要がある。

それは、現段階における産業部門の最下層に位置を占め、他の勞働市場に比して過大なる失業者群を包擁する自由勞働市場における激甚なる失業現象も、因を遡く、刑務所において受刑者に一日平均十二時間三十分宛もの長時間勞役を課する所謂「刑務作業」進展上の必然傾向たる「民業奪取」に發してゐるものであるといふことへの考察である。

二

我國において、受刑者に役業を課する「懲役刑」といふ制度の出現は、その當初においては復讐的膺懲の内容を多分に包藏せる一種の贖罪的要求の強請を主とせるものであつて、受刑者に課する役業に依る利潤追求の經濟的考慮はさして重視されてはゐなかつたものである。が明治の末期から大正の時代にかけて急速な歩を運び始めた資本主義産業機構の時代的趨勢がその反映として懲役刑の内容にも異常なる變化を惹き起さしめたものであることは言ふ迄もない。

一體何れの時代においても刑罰の内容は、時代の轉進に伴ふ社會狀態の反映を濃厚に吸收する機能を基本としてゐるからである。

明治四十一年六月十六日より司法省令に基いて施行せる監獄法施行規則の中では、受刑者一人に強請せる一日の作業時間は一年を通じ平均九時間六分の割になつてゐるが、これはその以前の平均作業時間に比較すれば幾割かゞ延長されたものである。

更に大正十年十一月一日より改定實施せる受刑者一人に對し、一年を通じ一日平均十二時間三十分の作業時間制の如きに至つては、現段階において、資本主義産業組織の下に行ひつゝある利潤追求の兇暴化を最も露骨に反映せしめたることを表示するものである。

そんなら一體刑務作業に由る一ケ年間の國庫收入はどの位あるものか、昭和二年度の決算に依れば總額六百五十萬一千余圓であつて就役せる受刑者の總數は、昭和三年五月末現在が三萬七千三百八人で（別に勞役場留置者が三百六十六人）、その前年度、即ち昭和二年六月末現在が四萬六十四人（別に勞役留置者が三百八人）といふことになつてゐる。

然してこの六百五十萬一千余圓といふ一ケ年間の作業收入に比較し、就役せる受刑者に給與せる作業賞與金の年額は、同二年度の決算に依ると七十四萬一千余圓といふことであるから、結局、作業への就役を強請することによつて受刑者から搾取する年收入金額の約九分の一強を生產に從事せる受刑者に賞與として給付するわけである。

更に約九千余名の職員を配置する、本所四七、支所三九、少年刑務所九、出張所六十一の經理に要する一ケ年間の行刑費は、同じく昭和二年度の決算に依ると、經常費が一千三百二萬九千二百十圓、臨時費が百四十四萬一千六百四十七圓、總計一千四百四十七萬八百五十七圓といふことになつてゐる。

故に、一千四百四十七萬八百餘圓の行刑支出費と、六百五十萬一千餘圓の作業による收入とを對比するときには、入に對する出の足不額が七百九十六万九千餘圓に達するものである。故、結局刑務作業に依る總收入は、行刑支出費總額の半額にも達しないものであるといふ統計が生じ、更に犯罪者が受刑に至る迄に要する警察費、裁判費等に支出する莫大なる國費と、前陳の行刑支出費とを合算し、刑務作業に依る收入とを比較するときには、「刑務作業の目的は、受

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

刑者が釋放後の將來を職業上から有利に展開させてやるための訓練を與へてやることに存するものであつて、斷じて受刑者の搾取を目的とするものではない」云々といふ論者が辯證の論據とされ易い傾きがある――一寸考へると。

更にさういふ論者にいはしむれば、大正十年十月三十一日迄實施せる、受刑者一人に對し一年を通じ一日當り九時間六分を就役せしめた作業時間制を廢止して、一躍三時間二十四分宛もの長時間を加重せる現在の十二時間三十分制の時間制に改定せることに對しても「受刑者に與ふる職業的訓練を時間の上から積極的に進捗せしめたに過ぎない」などと說くかも知れない。がそれらの欺瞞的強辯の妄論に對する論駁は姑く後段に譲り、順序として、受刑者の服役上に加重せる作業時間の延長、巧妙なる搾取手法に依る作業能率の增進とを直接の原因とする刑務作業の質的、量的の進捗によつて必然に惹起せしめられつゝある直接的には「民業搾取」に由る一般民業界への影響と、間接的には民業搾取によつて直接の影響を蒙る產業部門內に必然に生起する失業者現出の狀態と、その落着點とを明かにすることとせう。

三

生產機能の管理が「委託」「官司」の二種に分類され、約九十種の業種の下に營まれる刑務作業に依り生產される物資の原料の大部分は、無論刑務所外よりその供給を需めるものであつて、製產された刑務所製品は、所內において消費される極少量のもの以外の殆んどは、一般社會の需要に吸收されてゆくものである。

然してその刑務所製品の中で、最も顯著に量的にも價格から見るも一般市場にドシ〳〵販路を開いて消費されてゆくものは、織物類（就中久留米絣の如き）、籐製品、木製品（家具、建具類）等のものであらう。これらは主として「委託、請負」の種目の下に、低廉なる傭工錢の納入によつて受刑者を使用する民間業者の手に經理されるものである。（但し木製品の大部分は官司業に屬する）

次に「官司業」の種目の下に行刑官署の直接經理によつて營まれる生產額も可成り莫大なものである。これは、陸海軍經理部（被服類、皮工品の修理等）司法省（印刷物類）遞信省（遞送用品、被服、自轉車等）を主位とし、其の他の官公衙において消耗される物資の製品が大部分である。

「官司業、委託業の區別に關する詳細は、本誌昨年の五月號に掲載せる本文中に述べてある」

前にも揭げておいた如く、此の刑務作業に由る年收總額は、昭和二年度の決算に依れば六百五十萬一千餘圓と計上されてゐるけれども、刑務作業の大半以上を占めてゐる民業者の經理に係る委託、請負の作業から國庫に收納する利潤は、既に述べた通り、民業者より行刑當路者に納入する受刑者の傭工錢は頗る低廉なるものであつて、刑務所外において相當に從事する勞働者に支拂ふ勞銀の三割乃至五割減程度の額面である故、いま假りに刑務所外における通常勞銀に換算計畫するときには、刑務作業による收益金全額の一割乃至二割位の增加が想定されるといふことを考慮に入れておく必要がある。

以上述べたところによつて、刑務作業に依り受刑者より搾取する經濟的內容の梗概が知られることゝ思ふ。

四

順序として、民業搾取を必然とする刑務作業が、特に急激なる躍進的進捗の第一歩を、受刑者に課する作業時間制の上に露骨に具現したる一日平均十二時間三十分の時間制を實施せる大正十年十一月以降現在に至る迄刑務作業の一般產業界に及ぼしたる計數的影響の大體を述べて見やう。

司法省の調査に依れば、一日十二時間三十分の時間制を實施せる前月末――即ち大正十年十月末現在の全國における就役受刑者の總數は、（植民地を除く）懲役刑四四、九二二人、勞役場留置者一八八人、計四五、一〇〇人となつてゐるが、其の後各年度毎に多少の高低を辿りながら遞減的に、懲役刑三七、三〇八人、勞役場留置三六六人、計三七、六七四人の就役受刑者の收容數を表示する昭和三年五月末現在に至る、その間約七年間の毎年度の就役受刑者の平均數を大體四〇、〇〇〇人と見て（疾病に由る休養者、其他の事故による被免業者等の控除を想定する）之を一人一日の服役上に加重せる三時間二十四分の延長時間を分離してこれのみを各年度毎に總計すると、一ケ年間における、延長時間のみの總計が四四、四七二、〇〇〇時間となり、これを假りに八時間勞働を標準とする人員に換算すると五、五五九、〇〇〇人といふことになる。

（これは法律上受刑者に與へてゐる隔週毎の定例休業日二十七日大祭日、春秋二季の皇靈祭當日、年頭年末の免業日等約十一日、計三十八日を控除する一ケ年間の就業日を三百二十七日と見ての計算である）。

更にこれを一日に分計すると、時間の上では一三六、〇〇〇時間となり、人員に換算すると一七、〇〇〇人となる故、刑務作業時間の延長に由る民業搾取の產業界への影響は、八時間勞働に從事するものと想定する勞働者を、一日一萬七千人、一ケ年間五百五十五萬九千人だけ充當することの出來る作業を大正十年十一月一日に改定實施せる改制作業時間の施行以來の過去七年の間、毎年刑務作業の中に奪取されてゐたものであるといふことが計數上の結論として生ずるわけである。

右の計數に表示したる如く、刑務作業の進展に由る民業搾取の社會的影響は、世の所謂有產業部門內に失業者出現の成因を醸しつゝあつたものであることも、現在も尙さうであることも容易に考察されるであらうと思ふ。

刑務作業の影響のみによつて生起せる失業者といはず、總有失業者達の落着地點のドン底は自由勞働市場であるといふことは本文の最初に述べておいた通りである。

（昭和三年三月號所載の本文中に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

述べてある）
　總有生産部門より淘汰されて落ち込んでくる失業群の充満するためそれだけ、自由労働市場における失業現象は深刻を極めて居り、失業者個々の生活をして喰へやうのない絶望的な貧窮のドン底に陥いらせしめてゐるものであるといふことも既に「刑余者の社会的犯罪」其の他の項下に繰返して述べておいた如くである。
　絶望的な貧窮のドンヅマリに追込まれたる人々の生活心理は、道徳的反省とか、社会的考慮とかの規矩を遥に飛び離れた生きやうとする――食べやうとする欲能の激動の中に狂乱の姿を具現するものであることは不可抗の状態である
　其処には、犯罪も生じやう、減職への呪咀も生れて來やうが結果は、それらの人々の前に只一つ開かれてゐる「牢獄への道」へと落ち込んでゆくものであることは、既に前文中にも述べておいた通りである。
　私は、總有産業部門より淘汰された失業群の落行く地獄のドン底であり、断るが故に激甚なる失業者群の充満に悩む――然も犯罪生活までも伴ふの社会的遠因を、只単に、刑務作業の進展から必然に生起する民業奪取の影響に依つて惹き起された結果であるとのみその原因を帰結するものではないが刑務作業進展の必然傾向である民業奪取の影響が、現在における産業界不振の一因を醸成しつゝあるものであり、産業不振に由る経済部門の萎縮が直接に労働者階級の生活上に生活不安――貧窮等の反映を濃厚に惹き起すものであり、生活不安に由る脅威の濃度の深まるに連れて司法省や内務省あたりの統計が明示する如く、「犯罪」といふ「社会的罪悪」の濃度が深まつてゆくものであるといふ、間接的成因の責任の一部を刑務作業に問はんとするものである。

結　論

　前項中にも断片的に述べておいた如く、刑罰の形式及内容は、時代的色彩を濃厚に反映するものである。
　即ち「刑務所は社会の縮図である」といふ言はそれである。
　刑罰の執行形式が、資本主義と不可分の關連に所在する支配階級の手に司掌されてゐる必然の現象として、更に資本内攻撃の魔手が、社会機構の總有部門に亙つて益々辛辣なる搾取の爪牙を押し擴めつゝある現在において、復讐や懲罰の内容を多分に包蔵せる古い刑罰思想に基く懲役刑の内容が、近代的な利潤追求の徹底的具現に急激なる轉化の歩を刻みつゝあるの現状は當然である。監獄が刑務所に、囚人が收容者に改稱されたことも、古い刑罰思潮の具現である懲役刑の内容が近代的な、経済的搾取のそれに更改の歩を刻みつゝある階梯を表示する證左であらねばならない。
　斯ういふ觀點からすれば、陰険なる經濟的搾取と兇猛なる政治的壓迫が全勤労民衆の頭上に嶮悪に重圧されつゝある現代の社会的形相がその儘、現行刑政策の中心を強調する、搾取本位の作業制度の上に反映しつゝあることは少しも不思議とする必要はない。只だ刑罰の名において行ふだけそれだけ、搾取が深酷であり、悪辣が極端であるといふだけの相違である。
　故に「刑務作業の目的は、彼等に釋放後の生活を授け累犯に陥入る要因を除くにある――即ち彼等が釋放後激烈なる競争場裡に生活し得る労働能力を涵養せしむるにある」云々と行刑當路者の強辯する言明も、畢竟、現在における犯罪の原因が多く生活難に胚胎してゐるものであるといふ表面的な犯罪統計を巧に逆用する「搾取」の自身を飾る偽装である外の何物でもないといふ結論を否定せんとする者あらば、それは正に狂愚の至上である。

（未完の完）

青少年労働者保護法を獲得せよ

全国労働青年同盟創立大會提出議案の一

是非規定せしむべき點

（一）特に健康上有害なる作業、及危険作業、船内作業、並びに地下の仕事に満十六歳以下の者へ雇傭を禁止せよ
（二）満十六歳以下の者の夜間作業の禁止
（三）満十四歳以下の者の労働雇傭を禁止せよ
（四）同一労働、働く青年及び婦人には同一の賃銀を與へよ
（五）満十六歳以下の者の土曜午後日曜の全休を規定せよ
（六）強制的寄宿舎制度を廃止せよ
（七）徒弟制度、前借年期奉公制度を廃止せよ
（八）青年労働者の賃銀擁護の規定を設けよ（以上要點）

×

　何故に吾々は青年労働者保護法を要求するか。即ち資本主義的生産の必然的帰結は、あたかも水の低きに流れるが如く低廉なる賃銀を求めて行く。
　例へば、東京市電気局を見よ、彼は車掌の代りに低廉なる賃銀にて雇傭し得らるゝ少年車掌を採用しつゝある。又、乗合自動車が年若き婦人車掌を採用して行くが如きである。かゝる傾向は、少年労働者の失業を増大せしめ、生活貧窮が脅威する。
　資本家がこの低廉な賃銀をもつて採用した青少年男女は、成年労働者と何等變らない能率をあげるから、彼等は儲けものである。しかし、吾々、青少年男女労働者は、資本の脅威に苦しまねばならぬ。こゝに於て、特別保護法の獲得が當面必然的な要求となつて表れる。

×

　吾々はこの要求貫徹の爲めには全無産階級の生活擁護の叫びに結びつけなければならない。そして この必要を全無産青年に痛感せしめねばならない。

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

馬上の劉狂民

理想郷を造らんとして 支那革命に從ふ (六)

福田狂二

間諜を斬る

八月の二日地が燒ける樣な暑さであつた。私は司令部の參謀總長の室で、食後久し振で晝寢の夢をむさぼつてゐた。夢未だ醒めざるに忙しく後藤といふ日本人が入つて來た。そして私に告げた。福田保太郎、建部隆壽君が下關から縛られて馬車に乘れて營倉にぶち込まれた。支那人の間諜と共に縛られた。どうか助けて貰ひたいと。福田氏は前にも云つた通り山口孤劍氏の兄で、今でも私の無二の親友である。私は即時營倉を管理してゐる隊の聯隊長に話してこの二人の日本人を釋放して貰つた。

聯隊長の語るところによると康繼志といふ陸軍の少佐が北軍と通じた爲めに捕縛された。日本人も一緒だと云ふ噂で日本人を縛つたと云ふ。それは康繼志の伯父が北軍の主計であつて、この者から康繼志に通じて、司令部を爆發するといふ陰謀をめぐらしたのであつた。その頃福田保太郎氏は康繼志を從へて上海の國民黨に金を作りに行つた。留守の間に康繼志の所へ北軍の康繼志の伯父からの使ひが來た。擧動があやしかつたので捕へて見ると手紙を持つてゐた。陰謀がすつかり暴露された。それで、福田氏一行が歸ると同時に捕縛されたのだ。

何事も知らぬ福田氏は迷惑な事であつたらう。この康繼志は元第二革命前には文官であつたさうだが、革命後軍人になつたとの話だ。私はこの康繼志を憎んだ。聯隊長が取調た上軍律によつて死刑に處する事になつた。それで都督府の前の方の原で愈々斬る事となつた。斬手は兵卒で鈍刀の青龍刀を持つてゐる。青龍刀と云へば關羽がひつさげてゐたもので講談的な武器だが、實は關羽の持つてゐた樣な柄は無い。同じ鐵で作られた柄にボロ布が卷いてある。刄などは殆ど無いと云つてよい。それが錆てゐるから重さは二貫目位はあらう。これで首を斬るのではなくて叩くと首や肩の骨が折れて了ふ。私は青龍刀で斬るよりも私の腰に帶びてゐる軍刀で斬りたくなつた。私は間諜に對する憎惡心が極めて深い。今でもダラ幹を康繼志を斬つた樣に斬つて見たい。私の軍刀は太田大佐からわざわざ贈られた村正である。刀はよし、斬手はよし、忽にして頭身を異にした。彼が私の顏を怨めし氣に見上げた。私はこの裏切者に對して一滴の淚も催さない。一瞥して彼を斬つた。彼は身體を動かしつゝ死んで了つた。今一人の康繼志の留守中に來た間諜は他の者の口によつて赦された。そして都督府の正門の前に、彼の罪狀を記して獄門に處せられた。

今日本にゐて異變なき時、かゝる行動はいさゝか野蠻染みてゐるけれど、戰爭をしてゐる際の如きは、氣が荒立つてゐるし、スパイに對してかくの如き態度を取らなければ、自分が殺されて了ふ。軍の統制を保つ事が出來ない。戰爭は命を捨て、やつてゐる事だ。殺すか、殺されるかの事だ。ビラやポスターなどの生温い事ではない。私は彼間諜を斬つた事を今でも當然だつたと思つてゐる。此の南京の獨立戰爭で、強盜をして殺された者が二三名あつた。世の中には間諜したり裏切つたりして命を失ふ馬鹿者が往々にある。

下關の一撃

八月の九日電話が司令部にかゝつて來た。それは北軍の便衣隊が滬寧鐵道に乘つて潜入して來ると云ふ電話だ。これは鎭江にゐる國民黨支部から傳はつたものださうだ。これまでこういふ電話がよくあつたが、その度に兵を停車場に出して取調べさせた。それらしいものもゐなかつた。他の將官達は、またか位ひに思つてゐたが、何と無く私は氣になつた。で私は、行つて見る事にした。にはかに武裝した兵をつれて下關に向つた。そして私は停車場を守る一隊の隊長の部屋に行つて見てゐると、果して敵の便衣隊であると云ふ事が分つて來た。その當時の便衣隊は大抵兵卒か將校が成つたものだから色が黑かつたり額のところが日に燒けてゐなかつたりしてよく分つた。二百

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

六十名ばかりが一網打盡に捕縛された。その中で一人の便衣隊は舊式の連發式の拳銃を打たんとしたが、我軍の兵に打殺されて了つた。私はその縛されるところを見てゐたが、中には泣く者もあり、哀願するものもあつた。その捕縛された便衣隊は、その翌日南京城外の東北にあたる玄武湖と云ふ湖のほとりで一齊射撃の下に銃殺されたとの事であつた。

私はこの下關にある日本人の店から、何とか正宗と稱する日本酒の四合瓶を買つて歸つた。そして、その晩二合ばかりの酒を呑んだ。

富貴山砲臺の砲戰

南京の東部にあたつて富貴山と呼ぶ小高い岳がある。こゝを砲臺と稱してゐるが私が行つた時にはたいして砲臺らしいところも見當らなかつた。にはか造りの私達の砲臺を造つて野砲を備へつけた。砲臺と云ふものは移動が出來ない、砲臺の砲は据置きで動かせるものでは無い。野砲や野戰重砲の如きは、砲を運んで陣地を布く。この時には砲臺とは云はない。

我旅團は四門の野砲を備へつけて、揚子江から南京城を攻撃する敵の軍艦に對抗した。敵も七百噸や、千二百噸位の砲艦である。此の砲艦に備へつけてゐる砲にしても大きいので十二珊か艦首に一門位あるのみで、他は小さな七珊位のものだ。一里も彈丸が行かぬものだ。行つても決してたいした損害をあたへない。

下關は揚子江に接してゐるが、その向ふの浦口に臨沿して、たまたま白い煙が立つて下關から二丁位向ふへ彈丸の落ちるのがわかる。そして音響が聞こえる。我軍の打出砲丸も矢張りそんなもので、敵艦に命中せず揚子江の中程位に落ちた。これでは戰爭にも何にもならなかつた、その上、お互に彈丸を惜んでゐるから一日に二三發打つたに過ぎぬ。たゞ双方とも氣勢をあげたに過ぎなかつた。夜になつて砲撃する時には、パツと發火して兩國の花火でも見る樣な氣がした。かつて英國人の經營する招商局の揚子江通ひの汽船の側へ打つて抗議を申込まれ、下關にゐる我軍の聯隊長が平謝りに謝つたとの話も聞いた。

私は大抵半日位この砲臺に來て見てゐたが實に齒がゆくてならなかつた。武器がなければ戰爭は出來るものでは無い。全く頼よりない戰爭で、子供の頃故郷の山野をかけ廻つて戰爭ごつこしたものだが、それと同じいものであつた。

それから四日程して私は軍艦に向つて射撃する事を止めさせ、砲臺は野戰のみに使用する事になつた。（未完）

『組合風景』（川柳）

ケイ・ユメ作

大欠伸あゝ民衆よ民衆よ。

×

色氣ない部屋に映ゆポスターの色。

×

掃除する氣にもなれない部屋の芥。

×

長い髭面なれど髭もほし。

×

そつた髭剃つて見れば三分五厘。

×

髭面を泣かすもの一ツ朝の炊事。

×

焚きつけてる口笛の節革命歌。

×

朝の膳へ漬物買ひに出る男。

×

腹こそは我が身の中の謀反もの。

×

不景氣は今日も一飯節約し。

×

温飯に醤油かけて夕御飯。

×

夜鷹蕎麥の香ひ恨めし夜の十時。

×

壹年に二度とあたらぬ精肉の味。

×

議論終へ僅かに寒い火鉢の火。

×

プロブルの言葉のよく出る晩なり。

×

すひさしを煙管につめて氣焔上げ。

×

達者かと不孝息子に來る手紙。

×

書面に號文もまひ込む事があり。

×

怒るだけ怒らせて歸へす借金取り。

×

風呂錢を氣の毒さうに借る闘士。

×

平常は金のない男大會に行き。

×

鉛筆を持ては書きたい革命の字。

×

屑紙を革命の文字書いて居る。

×

頬杖に俗世の世界夢見さう。

×

北風にむくむく起きた腹の虫。

×

東京で幹部を罵つた同志きて。

×

煙草火で焼けた痕見つく座談會。

×

獨身へ隣の夫婦甘い聲。

×

臆病な民衆に馬鹿と名をつけて。

×

此の怨みなど將棋の駒に力入れ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

追　め

當時除名された片山潛

特別讀物

社會主義運動思出話（其七）

―第四齣赤旗事件の後―

岡野辰之介

一、前號の訂正と補遺

前號所載「山口義三歡迎會」の席上發企人が開會の辭を述べたと書いたのは間違ひであつた。發企人は何もいはなかつた。そして最初西川光次郎、次に堺利彦の歡迎の演說があつた。それは月並のもので取り立てゝ書くほどもない。赤旗を會場に持ち込んだのは、無政府主義者の悪戯で、夫れが會場に麗々しく飾つてあつたことは、非常に軟派の人々の感觸を害した。軟派とは議會派のことで、硬派とは直接行動派のことである。當時こういふ言葉が流行して、同志を見ると先づ「君は軟派か硬派か？」と尋ねて相手を驚かしたものだ。そして若い連中は何れも硬派で、年寄つた人々は議會派であつた。それも勿論深い研究から來たのではなく唯血氣が旺いからであつた。筆者の如きも硬派の一人であつたが、硬派は其の說く所一本調子で、頭の惡い人間には分り易かつたからだ。

片山潛除名の發頭人は誰れあらう吉川守邦、松崎源吉、赤羽巖と等であつた。何んで此の面々が片山に反感を懷いてゐたかは、何れ分派問題で悉く書くが、兎に角片山といふ男は當時頗る不人氣であつた。豫言者故鄕に容れずデネ。彼は作州津山の産、少にして秀英舍の職工となり、二十歲前に亞米利加に渡つて、皿洗ひたの百姓手傳などしてアッチの大學を出た。ドクトル、オブ、デビニチーたの、マスター、オブ、アーツたの、變なものを三ツも四ツも持つてゐた。そして演說をする時には時々ドクトル、オブ、デビニチーを持ち出したり、或はエコノミック、インタープレテーション、オブ、ヒストリーたの　オン、ぜ、グラウンドなどゝ英語を挿むので、夫れが實に可笑しく感ぜられ、若い連中より物笑ひの種となつた。

演說ばかりではない、對話をして居ても夫れをやるので、勞働者は困らされたものだ。それに彼は永らく米國に在つた丈けに、矢ッ張り英文の方が甘く、日本語は薩張りイケなかつた。從つて書くことも下手で讀者を引つけるなどゝいふ力はなかつた。今、新聞や雜誌で彼れの事を何んとか蚊とかいつてゐるが、當時を回想すると豫言者はドウしても故國に居ちや駄目だ。

二、餘興に血を沸かせたアナ

片山潛除名の決議が濟むと直に餘興に移つた。初め伊藤痴遊の講談があり、夫れから浪化亭峰吉、一心亭辰雄兩人の浪速節があつた。夫れが濟むと日比野雷風が寄附した少年劍舞とある。

詩は「本能寺」で「敵は備中にあり、吾が敵は本能寺にあり……」と來ると、宇都宮が「〇〇〇〇〇〇〇〇……」と續ける。佐藤悟は「〇〇〇、〇〇〇」と狂ひ廻る　是に於いて堺が少年劍舞の中止を要求したので、劍舞は止めたがアナの狂躁は止まない。何しろ光の陸離たる白刃と、夫れを兩方から打ち合せて發するピッ〳〵といふ火花にスッカリ逆上してしまつたのだからたまらない。夫れから革命歌の高唱となり、街頭の奮闘となつたのである。

會の解散したのが五時頃で、街上に於ける赤旗の奪ひ合ひが終つたのは日沒だつた全く人の散じたのは共處此處電燈がついた誰そ彼れ時であつたから、八時を過ぎて居たと思ふ。三時間以上も二本の赤旗を奪ひ合つた譯である。そして勿論アナの首領大杉榮は非常に奮闘した。何しろ彼は陸軍幼年學校に學び、柔道劍道は非凡であつたからその奥の手を出して警官隊を薙ぎ立てた。新聞に婦人が警官を一人で二三人も手玉に取つたやうに書いたのは、大杉のやつたのを誤り傳へたものらしい。荒畑も副將格で大に爭つたことは勿論である。されば此の二人は警察署でサン〳〵毆られた。新聞は此の二人が警察署で拷問されたと報じたが、拷問せられた譯ぢやなくて、アバレたのでヒドイ目に合はせられたのである。

三、高等掛久保

神田署に久保といふ高等掛りが居た。隨分長く勤めてあらゆる場合に、彼の手腕力倆が發揮されたものだ。勿論赤旗の時にも吏科と彼とが采配を振つたのである。其の功に依つて彼は部長に陞り、後本廳へ引き上げられたが、モウ寄る年波で先年首に成つた。恩給が年に五六百は貰へるから食ふには困るまいが、そこは人間の淺間しさで

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

何とかして宜い事がして見たくなり、何十年間の來つた金で役人をやめると直ぐ株に手を出しすつかり無くしてしまつた。今度は恩給を質に入れるかどうかして資金を作り酒屋を始めると相撲、誤謬化されて、亦もスッテン〳〵に成つた。

或る日彼は吉川世民を叩いて「アンタの所へなど來られた義理ぢやないが……酒を取つて呉れませんか……」所が吉川は殆んど飲まない。一貫こてやりたいがドブに捨てるより方法がないから……」と斷はられ、スゴ〳〵引き下つたといふことであるが、同志の思ひたけでも宜い目は見られまい。

四、幸德秋水の上京

赤旗事件の豫審が決まつて、いよ〳〵第一回公判が開かれた。傍聽人は押すな〳〵で開廷に先立ちて締切になつた。男囚は既に入廷して居る。女囚が少し後れて到着した堅縞の獄衣に狹い帶をしめ、深編笠で四人がシャナリ〳〵とやつて來た所は、又風情なきにあらずであつた。

法廷のドアは堅く鎖されて、二人の巡査が警固して居る。後れて來た同志は入廷出來ないで、恐めしそうにドアを睨んで居る。其處へ女囚が到着したのである。巡査もドアを開けない譯には行かない。ドアがサッと開かれるとヅラリ列んだ被告が一樣に此方を向いた。女囚が這入つてしまつて、既にドアが鎖されやうとした時、黑の背廣服を着た驅幹倭小、色の淺黑い八字髭の男が、女囚に續いて入廷しやうとした。巡査は忽ち之れを阻止する。洋服男は無理に入らうとする。兩者の間に押し問答が少しあつた。被告は再び一樣に此方を見た。

「ア、幸德さんだ！」

「秋水が來た！」

「來たナ」

と囁き合ふ。同志も傍聽席も非常に緊張する。幸德の細長いウルンだ二ツの目と三十近くの同志の目とが、互に挨拶を交した。滿場セキ一ツするものもない。劇的シーンといふところである。夫れもホンの束の間忽ちドアの外に立つて、尚ほ巡査と問答して居つたが、やおらポケットから一葉の名刺を出した。夫れには「平民新聞記者幸德秋水」とあつた。そして苦もなく「此の垣ならぬ、「此の關一ツ」を突破して新聞記者席に納まつた。

幸德の上京は牢に居つたものと、牢に入らなかつたものとを論ぜず、ドンなに力強い感じを與へたか知れぬ。

五、幸德は故山に歸臥して居た

當時幸德は故山に歸臥して居たのである。此の事件の起つた前年即ち明治四十一年十一月二十七日に、彼は老母と妻とを携へて、郷里土佐中村町に歸り、病を養つて居たのであるが、赤旗事件勃發すと聞き急遽單身上京したのであつた。そして第一回公判の開廷にヤツと間に合つたのである。彼は腸結核が持病で、其の上肺も惡くなつたと見えて斷へずセキをして居た。大石ドクトルに藥を調合して貰つて、夫れをオブラートに包み、食前食後には必ず飲んで居た。勿論夫れで癒らうとも思はなかつたらうし、癒る譯にも行くまいが、生きて居る間は病を亢進せざらんことを願つて居たのであらう。

彼は老母と妻とを故郷にのこし、單身上京したのであるが、其の筋がウルサイから下宿住居も出來ないし、宿屋住居もヤツパり同じなばかりか、浪人には費用も考へなければならぬから、どうしても一戸借りることになつた。そこで同志の二三が大久保柏木方面を探すと、幸、守田と山川が一所に住んで居た家がマダ開いて居た。其處は金曜社といふ看板を掲げた所であるが、山川の入獄後守田は淀橋のソバの小さい家へ越したのであつた。空家は八疊に六疊と玄關が二疊、早速之れを借りることにした。但し幸德秋水では屋主が恐がつて貸さぬだらうと、岡野辰之助の名で借りた。勿論借りる交渉も同人がやつたのである。家賃は七圓五十錢だつたと思ふ。庭はチョット廣く、其處に山川が丹精して播いて置いた草花が、楕圓形の花床の所々に、可憐な花を開かせて居た。

上京した幸德は直ちに此所へ撰遷したので、勝手道具を買ひ求める、夜具の心配をする、大騷ぎであつたが、岡野は當時小石川に住んで居て、思ふやうに世話も出來なかつたから、丁度遊んでゐ〻妹を飯焚きやら、身の廻りの世話にやつたのであろ尤も卜居當初から坂本清馬が居候になつては居たが不器用な男で飯など焚けなかつた、唯彼はブッキッシュボーイで能く本ばかり讀んで居た。

幸德が家を二軒持つたのは、此の時が始めで又終りである。所が警察では小石川の岡野と柏木の岡野と同一人なりや否やといふことが問題となつたらしく、或る日新宿署の高等係青山が、拙宅へワザ〳〵實地檢證に來たものである。然るに生憎當の主が居たので、直に内情暴露してしまつた。

偖、次回からは大逆事件前後の思ひ出話をするの〻順序だらうが、之れは問盤の一手專賣だから、そう〳〵易々とは書いてしまはれぬ。當時外に居た同志は大逆事件に引つか〻つてしまつたし、引つ掛らぬ手合で近しく往來したものに村田四郎があるが、之れは死んでしまつた。幸德が千駄ヶ谷へ越してからの事は南助松の方が悉しいが、其の以前巢鴨に居た時代のことは、拙宅より外に知つてる者はない。たから此の機會に當時の事を詳細に書いて置きたい。思はせ振りをするんぢやないが、次號には足尾爆破を書き、それから、社會主義史てなもの〻拔き書きをやつて分派問題を一通り書き、最後に「大逆事件前後」を御紹介に及ぶ。

山川均君より　進め誌上の回顧録面白く拜見して居ます。あれによつて全く忘れてしまつたことなど思ひ出され、一人で笑ふやうなこともあります。

紡績工場小景

土佐和芳

工場晝の休ツ時である。晝休みになつた女工が大ぜいで寝轉んで話しをしたり歌を唄つたりしてゐる。

——歌「女工さすよな非道な親がなんで乞食をさゝなんだ」

——オヤ、そんな歌があるの。

——あるさ、今私が唄つてるたないか。

——そりや遊つて唄やさんな歌たつてできるさ、その歌は「おやまさすよなひらけた親が、なんで乞食をさゝなんだ」てんたらう。

——さうよ、たけど私やおやま（娼妓）よりか女工の方がづつさみぢめたと思ふね

——さう思はない。

——どうかね——そりやどちらも金で賣られてゐんたものつらいには決つてるさ。たけどお前さんのやうに非道な親たなんてうらむものぢやないよ。私達を紡績へ出す迄には家で色々つらい事があつたに決つてるんたから。

——そら、さうよ。でも術なくなるとひとり心にもない事云つてしまふのさ。

——お前さん達や何を云ひやいこしてるの。

——おやまさんと、女工さんの話よ。

——それたつたらどちらもどちらたね。とにかく金で買はれてる者にはみな鐵の鎖がついてゐんたからつらいには決つてるさ。

——オヤ、お花ちやんが泣いてるよ

——どうしたの。

——私この人達の事聞いてるさ、ひとり涙が出て來るの。

——そりやさうたらう、お前さんは身體が悪いんたものね。——そして此頃胸の方は少しはいゝの。

——駄目駄目、何と云つてもどうする事も出來ないんたもの、悪くなるばかり。

——醫者によく見て貰つたらどう。

——醫者つてあんな者はあるのもないのも同じ事よ。診察と云つてもチヨツト診る丈けでもう大丈夫たと云つて働かせるんたもの、私やもうどうする事も嫌なんたよ。

——ぢやもう藥も飲んでゐないんたね。

——飲まないよ、どうせあれらの造つた物た、藥たと云つて水位飲ますに決つてるよ。

——恐ろしくヤケを起したもんたね。たけどお前さん養生する丈けしなくちや損たよ、——もし死にでもしたらどうするんた。

——死んた方がどんなにいゝか知りやしないよ。——私や國から來た時、この腕をうしても廻らなかつたんたが今はどうたね、こんなに細くなつて了つたんた（泣く）

——ほんとにね。でもなんたよ、生きに來た世界たから生きられる丈け生きなきやウソよ。

——吃き苦しんで生きてゐたつて何が面白いものか——今にみてるがいゝさ、私達はみなヂリヽと殺されて行くんたから。

——なんて憎らしいのたらうね、此處の醫者の奴は。

——ソラさうよお前さん。彼奴らは此處の雇はれ人なんたもの、會社に損するやうな事をすれは首になるのは當り前さ。たから自分の口が可愛い限り私達ア脅かせなけりやいけないんたよ。——とにかくどつちにしたつて一番命の惡いのは私達さ、その私達がゐなけりやこの工場は一日たつて立つて行かれないんたけどね。

——あゝ嫌ね、考へりや考へる程地獄にゐるやうた。監督の奴は眼をギラヽ光らせて監視しやがるし、外出と云へはグズヽ云やがるし、ほんとにこんな處にゐたくない。

（工場の遠くで男工の唄ふ歌が聞へる）

——歌「紡績豚さへ人間ならは
　　工場の煙突に花が咲く」

——誰たへ、ケチな歌唄ひやがるの。

——機械の奴たよ。何と云つても私達や人間並ぢやないんたもの、何とでも云はれるさ。

（一同沈默——やがて一人の女工悲しさうに唄ひ出す）

——（歌）「紡績豚でも輕蔑するな
　　國へ歸れはお孃さま」

——（お花聲を上げて泣く）

——お花ちやんそんなに泣くもんぢやないよ。身體に障るから——何と云つても私達や事實豚のやうな生活してゐんたもの仕方ないよ。蚤や南京虫のウヂヤヽしてゐる汚い空氣の惡い部屋で雜魚寝やつてるんたからね。

——ほんとにさうね。たからこんど生れて來る時は金持のお孃さんに生れて來るんたね。

――さうよ、社長のお嬢さん位にね。さうすりやいや〳〵徹夜なしに仕事しなくともいゝし、そしてきれいな衣物を着て、今日はお花見、明日はピアノつて遊んでくらせるんだからね。

――私やきれいな衣物を着て遊んでゐたくないけど、この世の中に貧乏人がなくなつたらどんないゝ事かしらんと思ふね。さうしてお金持ちのお嬢さんも貧乏人の私達も一つ工場で一緒に働くんだつたらほんとに人間並のいゝ待遇になると思ふけどね

――そんな甘い事問屋が卸すものか、とにかく私達は金持の人達のために苦しみに生れて來るんだよ。――朝から晩まで、私達の番犬に雇つてあるのかどうかしらないけど、監督の奴はガミ〳〵責め通しやがるしほんとに嫌になつちまうよ。

――つまり私達は安い賃金で金持の人達のために酷使されてるんだからおとぎ話でよく云ふ奴隷つて奴さ。

（一同少時沈默）

――こりや誰がいふが、私や此處で一番獄に陥るのはあのおみよちやんだ。あの娘は監督の安田に好かれてるおかげでいつも仕事は楽な方に廻されるし、どんなに油を賣つてゐたからつて何共云はれないんだものほんとにこつちが堪まらない。

――でもあれだつて、永続きはありやしないさ。腹が大きいんだから今に捨てられるに決つてるよ。

――さう云ふと可哀想ね、あゝしてなぐさみ者になつてるんだから。

――さうすると慾の悪い私達は仕事こそえらいがそこの處は安心なもんだ。

――どつちにしたつていゝ事ありやしないよ、私達の生活と云や唯鞭で打たれないだけだもの。

――私や叫つても獄に陥はるのは私達を此處へ連れて來た募集員の奴だ。全で極楽か女學校かへ入るやうな事を吐かしやがつて、まんまと地獄へ突き落しやがつたんだもの。

――とにかく私達は其敵討の様な氣持で、一つストライキをやるんだね。待遇改善のために。

――ストライキつて？、

――みなが一緒に仕事を休んでしない事さ。

――そんな事が出來るかしらん。

――出來る共、みなが腹を合せて仕事をしなけりやいゝんだよ。何と云つても私達働く者が仕事を休んでしまへばこの工場は立つて行かれないんだから其點は上役や事務員や監督の奴らよりかズツト私達の方が値打ちがあるんだよ。

――そりやさうね、とにかくこんな事は勞働組合の人によく相談するんだね。

――お前さん達やそんな事云つてると、又監督の奴に聞かれて大變な事になるよ。

――なにかまうものか。

（晝休み終り、工場の汽笛空高く響く。皆一せいにドヤ〳〵と工場内に入つて行く。少時、空虚、機械の廻轉する音が激しく聞へ出す）

（女工のおみよと、監督の安田とが出て來る）

おみよ　安田さん、一體どうして呉れるんだね。

安田　そんな事あ俺には判らないよ。

おみよ　（眞剣に）何でさ。

安田　何でつてこんな處で腹が大きくなりや誰の子か判らないからだよ。

おみよ　まアお前さんはよくもそんな事が云へるのね、私やもうすぐ出來るんだよ。

安田　出來たらどつかへ捨てりやいゝんだよ。

おみよ　えゝ、お前さんは鬼のやうな人だ、私やそんな事は出來ない、さうたないか、お前さん、もし知れたらこの前のおひなさんのやうに新聞にまで出されるんだよ、ああ私やいやだこのまゝ國へ歸られも出來ず、一體どうして呉れるんだね。

安田　國へ歸れなきや一生こゝに居りやいゝんだ。

おみよ　嫌だ、嫌だ。こんな恐ろしい處に誰が居るもんか、――お前さんはなんて恐ろしい人なんだ。

安田　俺はお前なんかにかまけて居られないんだから何とでも云つて居れよ（行かうとする）

おみよ　待つてお呉れ、私やどうでもこの話を付けて貰はなきやいけないんだ。さあどうして呉れるんだへ（身を投げやる様にする）

安田　えゝい、うるさいガキだな、畜生ツ、（突倒す）

おみよ　（倒れて泣きながら）お前さん私をどうするつてんだへ（憤怒に燃へた眼で睨む）

安田　甘い事を云つてやりやつけ上りやがつて、勝手に泣いて居りやいゝんだ。（後をも見ないで行つてしまう）

（おみよは少時の間泣いてゐたが、やがて起上り恐しさうな面持ちで工場の方を眺めながら悄然として用水堀の方へ歩いて行く。そして少時は用水堀を見つめてゐたが、漸くにして意を決したかの様な表情を現し、激しく水泡を立てゝ用水堀に投身する。

あたりに水音が高く響き、やがて工場の方から機械の音に合せて唄ふ女工達の悲しさうな歌がおみよの死を弔ふかの様に聞へて來る。

――幕――

一九二八、十一、三

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

漂泊の旅（承前）

吉田金重

青々とした稲苗の田圃と、山野を縫ひ、縺れ合ふ若き男女の群——性の自由を想像する程、既に枯れかゝつた血は甦り、胸内を熱く迸らし駈け廻るやう。幾度にも高く積み重ねられた田畑と、森林の如き桑畑に介在しつゝ、秘めごとにして秘めざる野性的な歓楽。解放な○○——それがいふところのロマンチックであらうか、原始的であらうか？しかしそこには表面ばかり美しい、偽りよけのヴェールを掩ふた虚偽な何物もないであらう……それはたゞに、最近に於ける私の感じであらうか、憧れであらうか？

ともかくにも、三人の相談は纏まつた。が、纏まらないのは一圓六七十錢の汽車賃と、向ふへ一着してから仕事にありつくまでの、幾らかの宿料だ。私はそれでも前借金もなかつたので、賄付六十五錢の賃金を五十錢に胡麻化されながらも、なほ三圓五六十錢を手にすることが出来た。たとひそれが肉を削られ、血を絞られた代價にしろ情弱な文筆ならざる、筋骨の働きによつて贏ち得た賜物だ。

「ぢや、僕は護國寺の石段を上つた右側の休憩所で待つてゐるから、間違ひのないやうにね……もし二時から五時の間に来ないやうだつたら、巣鴨のK館に行つて泊るから」

林田と藤村に堅く約した私は、十四五日の間に棲み馴れた江戸川べりの労働部屋を出た。曾て暖かさうに迎へた主婦の瞳は、今は背後に冷たく感じた。それにしても約の危まれるのは、林田であつた。殆ど毎夜のやう、酒場に足踏みをせずにはゐられない林田に、汽車賃だけでも出来るであらうか？

私は私服の密行巡査に不審訊問されたりしながらも、永い時間をあの東屋のベンチに待つた。ところがたまく四時頃息せき姿を現した藤村は、

「吉田さん、どうも弱つたことが出来た。勘定してくれるところではなく、まさかの時には入質をと思つた洋服まで押へられてしまつて……」と、落膽りしたやう腰を下した。

「しかし藤村君は日頃から、労働部屋の主人にかなり信用があるやうにいつてたではないか、少くとも理解をもつてゐるやうにいつてゐたが、さうぢやなかつたのかね？」

「いや、それやさうなんだ。ところが今日ときたら悪い奴が来合してゐるんだ。主人の兄弟分といつたやうな、土方の世話焼をやつてる無頼漢なんだ。そいつが横から干渉したんだ……」

「横から干渉したしたからつて。主人にして黙認しない限りは……しかし主人は、何て見ぬ振りでもとしつたのだらう？それや主人とその兄弟分との間に、何等かの默契があつたのだよ。主人といふ奴 第一いかゝわせものだよ、僕も曾つたことはあるが。労働者のいゝ兄弟みたいな顔をしてる、さうだらう？」

ちらつと、私の顔を窃見した藤村は、それには更に答へやうとはしなかつた。が、一瞬の後何事かを決心したかのやう、つと立ち上りながら、

「僕はきつとやつて来る、かうなつたら最後だ」藤村はあたりを見廻し「それで林田君は？」と訊いた。

「また来ないが、どうしたか？」

「林田君もあまり飲み過ぎるので、或はどうか？」

「来るのは来ると思ふが、しかしね……」

「いや、僕は人ごとではない、懸命な場合だ。ぢやすまないが一寸」

藤村は巨木の緑を透して洩るる太陽の光線を仰ぎたしかめながら石段を駈け下りた。私はそれを見送りながらも、その言葉をどれだけまでに信じていゝのか分らなくなつた。

一時間、二時間は経つた、灰色の空は、漸く薄闇に閉ざされかゝつた。けれども、誰もやつて来なかつた、藤村はもとより、林田まで。私は気が気でないので、バスケットを提げるとあの音羽の長い通りを江戸川べりに出た。そしてつい今朝がたまでゐた労働部屋の裏の空地に忍び込み、いつものやう相変らずそこにハーモニカを吹いてゐる藤井に林田のやうすを調て貰つたが、夕方からゐないとのことで要領を得なかつた。林田の要領を得ないまゝに、私は更に藤村のゐる労働部屋を窃つと覗いたが、ひつそり閑として人の気配すらなかつた。やつと人が入れるか入れないかの露路の奥にある労働部屋のことゝて、もし他人に見咎められてはとの懸念から少時にして出て来た私は、はたと途方に暮れてしまつた。

池袋から赤羽行きの電車で、赤羽から高崎行きの列車に乗り換へたのは、その翌々日の朝早く——それも未明の頃であつた。とにかく私がかうして東北地方へ旅に出るのは、在京十四五年の間に於て二度目であつた。大正十四年の六月頃、北陸松任に友人を訪ねた時——しかし、それとこれとは意味を異にしてゐる。たとひ道伴に於て豐いとはいへ、今はところ定めぬ漂泊の旅である。無銭の手傳ひとか、百姓の手間とか

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

いへそれも行きつき、落ち着いてこそ始めていはれることである。まつたく現在の私はどこへ行き、どこへ落ち着くか分らない放浪者である。せめて秋田か藤村でも約束を違へなかつたら——とはいへ彼等とて好んで約束を違へた譯ではなからう?よし彼等が好んで約束を違へたとしても、私にそれを怨む權利がどこにある。なぜなら私にとつて、欲しない旅なら中止したらいゝではないか。だが、現在の私には同行の友があらうとなからうと問題ではなかつたのだ。いゝ氣なエゴイストよ!さうした批難が起らうと起るまいと、私は過去と異つた生活の中に自分を鞭打ち、心の底に眠つてゐるものを呼び醒まし、必死に一生を賭やうとまで決心して、カムチヤツカへ漁業人夫に行くか、鑛業を研究するべかりしを、偶に舊友の警めによつて筋肉勞働者の中に飛び込み、更に農民の中にもぐり込まうと企らんでゐるのではないか——さうだ、そこにこそはじめて、新しい生活の第一歩があるではないか——

高崎の次郷驛に下車した私は、別にどこといふ的もないので廣い大通りを電車軌道に沿つて西へ〳〵へ辿つた。そこへ行つてもさうであるが、街そのものは私に何等の魅力も與へなかつた。しかしこの市の西端、高崎練兵場の南側にある、さる寺境の庭のほこちない小さいたつた一つの公園の噴水は、美事なものであつた。また茶店前の亭に備へられた新聞は、漂泊者に取つては便利であつた。私はそこで故郷の年老た母に、舊友に宛、五六通の手紙を認めた。その内容は?しかし、それをまでこゝに告白するには及ぶまい。

公園を出た私は、また暫く電車軌道に沿つて歩き、あるカーブに逆れして緩い坂をたら〳〵と外れた。碓井澤へ通ずる、中仙道である。バラツクに等しい場末の町は暫らくつゞいた。

「もし〳〵、まあ一服して行かつしやれ」

聲が渡れたのは頭つ黒く、煤ぶり返つたひちやけたやうな恰好の家であつた。自分を呼んだのではないか知ら?、私は振り返りながら考へた。

「ちよつくら休んで行かつしやれ、何もそんなに遠慮することはねえだで……」

聲は更に繰返された。私はしかし、呼びとめられるまゝ踵を返し、狹い入口を這入る前にまづ見たのは、焦茶色に染まつた紙に御安宿、藤川屋と釘の折れのやうに書いた、小さい四角な行燈であつた。私は刹那に、ある不快な感じを懷いたが、

「僕にですか、それで……」と口をもぐもぐさせながら、眼をそゝいだ。そこには汚らしい、よぼ〳〵に年老つた男女の一對が勞働者らしい二三の人を相手に話し合つてゐた。

「お前さんも何かい、どこか働きにでも行かつしやるかい?、」

それはやに眼のしよぼ〳〵とした、白髮頭の小さい老婆である。一瞬、興味ある視線は、未知の漂泊者の顏に集まつた。團屋を指されて、ある無氣味を感じたがそれでも私は率直に、

「勞働の手傳ひにやつて來たのですが、どうでせう?、」と老翁にそゝいだ眼を、更に他の勞働者達に轉じた。

勞働者達は眼と眼を見交し、互に頷き合つたが、老翁は眉をよせ、顎を撫りながらいつた。

「まつたく、勞働は辛い……それでお前さんは、どつからおいでたね?」

「僕は東京なんですが……」

「ぢや、駄目だ〳〵……なか〳〵素人の手に合はん」

「しかし、僕は百姓の家に生れ、幼い頃には勞働もやつてゐたものです。だから、出來ないことはないと思ひます」

まつたくそれは、まるで出鱈目ではなかつた。作物を手に除してゐる私の生家にこそ勞働はしてゐなかつたが近隣や親族などはかなり繁忙を極めてゐた。で、たま〳〵繁忙時期に二日、三日を親族へ手傳ひに出かける母や、姉について行つて好く邪魔をしたものであつた。しかしもとより、岡山地方の遊びごつこのやうな勞働と、それが一家の浮沈に關する上州地方とは較べものにならなかつた。

「……ねんねこよを、おころりよを、坊やはいゝ子だ、ねんねしなあ……」

奥の方から、子守唄が聞こえて來た。私ははじめて氣づいたやう、薄暗い奥の方を透し見た。そこにはこの老夫婦の娘か、それとも嫁か?、とにかく三十恰好と思しい束髮頭の女が、一人の兒を抱つこして往つたり來たりしながら子守歌を唄つてゐた。

「どこかで見たことがある女だなあ?、」

私は心に、記憶の糸を手繰つた。この時分まで煙管をくわへてゐた四十恰好の一人の男はにつこり立ち上ると、つか〳〵と奥へ這入つて行つた。そして、さも馴れ〳〵しく兩手を差し出しながら、

「これ藏坊、こつちへ來な、ちやんが抱つこしてえゝところへつれて行つてやるからな……」と、女に擦りよつた。

「へん、いけづう〳〵しい、何が藏坊です、何がちやんです?…」

女は強く跳ねつけるやう叫んで、身體を躱して男を睨みつけた。

「なんも、さうづけ〳〵いはんでもえゝぢやないかい、遠慮でもない癖に……」

「何が、失敬な、亭主がないからつて、女一人だからつて、またあなた方に侮られる妾ぢやありませんよ……」

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

「なんも、さうむきにならんでもえゝぢやないかい、貧坊は猫の子のやうに可愛いんぢや……」

男はなほも、にちや〳〵女の顔にねばりつくやうによつて行つた。私はにわかに起つたこの奇怪な光景を眺めた。老翁は苦々しくも、それから顔を反向けながらいつた。

「それや出來ないこともないぢやろが、お前さんらが東京から來てまでやる程のことでもないわ……、さうぢやな、それよりかえゝ仕事があるんぢやが、やつて行く氣はないかな?」

「いゝ仕事?、それやならないこともないが、僕の目的は養蠶か百姓にあるんだ」

「ぢや、かうしな、暫らくこゝで働きな、そのうちに養蠶家へ世話しやうから、今はまだ〳〵早い、もう十日も經たんとはじまれやせんでな……」

丁度この時表の入口から印絆纏を引つかけたり、種々雜々の着物を着た妙な恰好の男が、ぞろ〳〵とつゞいて這入つて來た。(續く)

進め社だより

▲本號の綱領の主要部分の方向を、日本大衆黨にからまる奇怪な噂と事實からして、清黨運動が日本大衆黨の清純分子の必然不可避的な任務である事を強調する點においた。

「清黨運動に關するハガキ回答」は、一般原則としての問題を提出したつもりであるし、又、回答せられた諸氏も、そのつもりで回答せられたのであるが、この一般原則は、日本大衆黨の行くべき道をはつきり明示したものであると考へる。

×

▲このハガキ質問を出さなかつた人で「さては自分も睨まれてゐるのかな」と云はれたが本社に決してそんな考への上で、出さなかつた譯ではない。印刷した葉書が少數であつた爲めと、怱忙たる雰圍氣の中で發送した爲めに、行かない人があつたかも知れない。この點誤解無き樣御願ひする。

×

▲この問題は、無産政黨と財政問題に就いて深き考慮を促すものと思ふ。無産政黨を今後發展せしめるには、金が必要だ、黨員がこの問題を眞劍に考へなかつたなら、今後更に第二第三の醜事件が續出するに極つてゐる。黨員諸氏の奮起を祈る。

×

▲一部の人々は腐落幹部の出現を非常に慨いてゐられるが、私は決して慨くべきものでは無いと思つてゐる。勿論原則として好い事ではないが、これも無産階級が強くなつて來た證據であるから。しかも、清黨運動が起つてこの腐分子と戰つてゐるから、われわれは恥とは思はない。ダラク幹部がゐても、清黨分子がゐなかつたらそれこそ恥辱だ。かく考へる時、清黨運動は決して一時的なものであつてはならぬ。無産運動がある限り、永久にこの運動は力強、腐を組合せてゐなければならない、清黨運動に關する御批評を願ひたい。

×

▲創作・詩歌記事物共に他の文藝雜誌に劣るものでない自信を有してゐる。殊に、岡野辰之介氏の社會主義運動思出話は好評嘖々、加藤氏の「保政行刑政策と自由勞働者の失業問題」は一先づ本號をもつて打切られる由、日本大衆黨における左翼分子の任務を論じた、吉田及び伊倉の兩君はいづれも本誌同人として、伊倉君は農民組合に、吉田君は勞働組合に常に先頭に立つて戰つてゐられる闘士である。

×

▲全士戰線はたいぶん纏まる樣になつた。全士戰線のあるところ必ず支局があり、支局のあるところ必ず全士戰線のある樣に努めたい。市川君の論文によつて明かな如く先に本誌上に紹介した日本無産青年同盟は、去る一月二十日全國勞働青年同盟の先進分子と呼應して合同して創立大會を擧げた。讀者諸君は是非この青年同盟の支部組織に努力されたい。

×

▲進め讀者會は全國的に發展した。東京の讀者會は毎月二三回位ひ研究會を開く事にしてゐるから、希望の人は大至急申込んでおかれたい。尚、支局設置希望者は支局規定がある。地方で演説會を開きたい方は會場と準備さへとゝのへてあれば、何時にても乘込む。

×

▲修新黨準備會分裂、落着く先に落着いた譯である、合法政黨なくして無産運動の發展はあり得ない。この點、水谷氏の行動を是なりとするものである。しかし、京都の日本大衆黨支部の聲明書によれば、水谷君は山本宣治君の一派を「×××」だとか「共産主義だ」とか闘爭してゐるそうだが、かゝる行動は、反無産政黨的なものであり、聲明書の云ふ如く水谷君一派の爲めに取らざるものである。

×

▲先に宮崎縣の無産黨爭議あり、今年に入つてから岐阜の農民騷動あり、しかし、この大衆運動に、否、全ての大衆運動に無産政黨が先頭に立つて戰つた事があるか、戰つたと云ふよりも、むしろ、かゝる運動が無産運動の發展してゐない地方にのみ勃發する、吾々は、今日無産運動者が、かゝる大衆運動の眞先に民衆の爲めに犠牲になるの決心をもつて戰はなかつたなら、無産政黨の信望を一身に集める事は不可能であると考へる。

進め研究會に參加しろ

友人を誘つて一人でも多く出席せよ

◆一月十日は午後六時から

第六回研究會だ

◎講師は

清水武雄氏

◎問題は時局問題

◎場所は進め社本部

分らぬ事を準備して

進め研究會に參加せよ

×

▲第五十六議會開かる。無産黨議員を大衆的威力で戰はしめよ。田中反動内閣を倒せ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

週刊 月二十圓 一年二百圓

日本社會運動通信

發行所 東京市麹町區内幸町一の五中林ビル内
日本社會運動通信社

喜谷實母散

無産階級の診療所

平民病院

東京市京橋區木挽町

徳

金.銀.白金

徳力商店

電話神田25 216. 235. 221. 976. 450.-

東京神田松田町

解放群書

◇東京芝區新櫻田町十九
◇振替東京三六九四四番
解放社

□毎月壹冊刊行 但三冊に一冊は禁止
□壹冊 壹圓
□既代壹冊拾錢
◆印半額版もある

◇石川世界社會運動史
◇同氏日本社會運動史
◇佐倉氏「女工虐待史」
◇山内「社會思想解説」
◇英國婦人勞働運動史
◇守田世界革命家列傳
◇尾瀬「革命藝術大系」
◇「地震憲兵火事巡査」
◆總領大家傑作集上下
◆名家趣論集二冊各十
◆幸徳全集上「名文集」
◆幸徳全集中「書簡集」
◆中西傑作「武左一揆」
◆神近市子女史傑作集
◆小川未明氏傑作選集
◆新居格氏傑作選集
◆山田清三郎氏傑作集
◆青野季吉隨筆論文集
◆近藤榮蔵革命運動史
◆「古今東西理想郷讀本」
◆新興消費組合虎之卷

解放

解放社(送料共)廿五錢 四年版

大衆年鑑日記

特
◇日記年鑑顧問官◇萬人必携贈答用
◇注文殺倒將絶品◇勞農工商大至急

解放年鑑【目次大要】

1 年鑑
◇四年東西陰陽暦◇
◇郵便小包電報料◇
◇世界各國度量衡◇
◇金利年令御歷代◇
◇世界大衆運動號◇
◇日本大衆運動號◇
◇大衆國體現勢解◇
◇政治經濟組合論◇
◇圖表統計中百頁◇
◇團體名簿約二千◇
◇歴史年鑑二十頁◇

2 日記
◇新案日記滿壹年◇

3 附録
◇大衆法律十原則◇
◇大衆法律年別表◇
◇各種稅則圖解表◇
◇大衆法令約百頁◇
◇必讀書籍目錄表◇

長
◇便利重寶御經濟◇美裝堅牢第三種◇
◇辭典懐中活動的◇机上便覽大衆品◇

月刊半圓但群書同様 三月一回の割で禁止 完讀希望者は要前金

半圓版

各國社會運動史全集

◇以後廣告せず
◇時々禁止の因
◇完冊分割五圓
◇月刊全十二冊

◇英獨佛伊西日支殖民印中北歐洲南國露◇
◇米北南東亞各國一冊各参百頁内外分担四冊完結◇

潤化劑
口齒科

仁丹

○齒の爲に一番よい
仁丹のハミガキ
日・英・米・佛 專賣品
仁丹齒ブラシ

小粒仁丹
◎高貴薬サフランを倍加して特製す
大粒仁丹

お買物は三越へ

品質が良く、新流行品揃ひにて、價もまた低廉です
三越はデパートメント、ストアですから日常生活に御必要な品は大抵揃へてあります
何と申しましても良い品は東京に限ります、東京でも三越の品ならばお安心してお買物が出來ます
地方からのお註文はお手紙にて通信販賣部へ御一報下さいますれば迅速にお送り致します

三越
東京駿河町

實用本位の百貨店
高島屋
お客様本位の百貨店

精工舍製腕時計
SEIKO

測量器
寫眞器
眼鏡
精工舍時計
歐米製時計
ダイヤ
裝身具
金銀盃

東京銀座二丁目
服部時計店
大阪博勞町 心齋橋筋角
大阪支店

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可
昭和四年一二月一日發行
同四年一一月廿八日印刷納本
第七年第十二號　毎月一回一日發行
定價一部十錢(郵税五厘)　半年六十錢　一年一圓(税共)
廣告料　一行一圓　一頁三百圓
發行所　東京市芝區南佐久間町一丁目十八番地(振替東京六六(三))　進め社本部
發行編輯兼印刷人　神崎伴之助　大阪市淀川區十三西之町一三　大阪事務所